

## 国立大学法人の中期目標及び中期計画の素案についての意見（案）

国立大学法人評価委員会  
国立大学法人分科会

はじめに

国立大学が法人化し、組織編成等の運営面や財政面において自由度が高まったことを受けて、各法人において、さまざまな教育研究活動や運営上の改革に向けた取組が行われてきた。個々の法人の規模、特性、状況はそれぞれ異なっているが、総じて見れば、学長のリーダーシップの下での機動的、戦略的な法人運営・経営が定着しつつあるとともに、評価結果を活用した改善システムが有効に機能しつつあると考える。

第2期中期目標期間においては、国立大学法人は、人材養成の中核を担うことはもとより、地域の教育、文化、産業の基盤を支え、学生の経済状況に左右されない進学機会を提供することなど、国立大学法人がこれまで果たしてきた役割を引き続き十分に果たしていくとともに、法人を取り巻く状況の変化に適切に対応し、国民の期待に応えていくことが求められる。

さらに、第2期中期目標期間は、各法人のミッションに照らした役割を踏まえた諸般の取組を通じて、それぞれの個性や位置付けがより一層明確化されていく6年間であると考えられる。各法人は、第1期にも増して、中期目標及び中期計画などを通じて果たすべき使命や役割を明確にしその確実な実現を図ること、教育研究活動や管理運営に関する情報などをさまざまな手段で積極的に提供することなどを通じて国民や社会への説明責任を果たすこと、他大学との事務部門の連携・共同実施などを含め一層の業務運営の効率化を図ることなどが求められる。

このような状況の下、国立大学法人分科会の下に設けた国立大学法人の第2期中期目標・中期計画に関するワーキンググループにおいて、平成21年6月末に各大学から提出された中期目標及び中期計画の素案の検討を行った。当分科会では、ワーキンググループの意見を元に、次のとおり意見を取りまとめた。今後、第2期中期目標及び中期計画の策定作業において、この意見の内容が斟酌され、国立大学のさらなる改革が実現されるための中期目標及び中期計画となることを期待する。

## 1 基本的な考え方

国立大学法人の中期目標は、各大学の基本理念や長期的な目標を実現するための一つのステップであり、6年間の達成目標である。また、中期計画は中期目標を達成するための具体的な計画であり、中期目標の達成状況を把握する際の具体的な要素である。こうした中期目標及び中期計画の性格に鑑み、その検討に当たっては、以下の基本的な考え方を踏まえることが必要である。

### (1) 各大学の自主性・自律性の尊重、教育研究の特性への配慮

第2期においても、国立大学法人の中期目標及び中期計画については、独立行政法人の場合とは異なり、国立大学法人法及び国会における附帯決議の趣旨を踏まえ、各大学の自主性・自律性の尊重、教育研究の特性への配慮を基本に考えることが必要である。

### (2) 具体的・明確で、評価が可能な目標・計画設定の必要性

第2期においても、①法人の特性に応じた明確な理念・目標の設定により各大学の個性の伸長に資するものとする観点、②国民に対する説明責任を果たす観点、③国立大学法人法に定める国立大学法人評価を適切に実施する観点、から、目標・計画の記述に関しては、その達成状況が事後的に検証可能なものであることが必要である。

## 2 素案の修正又は検討の内容

国立大学法人等の第2期（平成22年度～27年度）における中期目標及び中期計画の素案（以下「素案」という。）の修正（追加及び削除を含む。以下同じ。）又は検討については、第29回国立大学法人評価委員会総会（平成21年6月24日）にて了承された資料「国立大学法人等の第2期における中期目標及び中期計画の素案の修正等について」の別紙で示された「国立大学法人等の第2期における中期目標及び中期計画の素案の修正等の考え方」（以下「考え方」という。）及び「考え方」に基づく実際の作業に当たって用いるメルクマール等の実務方針「国立大学法人の第2期における中期目標及び中期計画の素案の修正等の実施方針」（以下「実施方針」という。）によるものとする。

### (1) 素案の確認結果

「考え方」及び「実施方針」に基づき素案を確認した結果は、次頁の表のとおりである。なお、修正及び検討を求める場合の考え方については、以下のとおりである。

修正を求める場合： そのままの記述では中期目標として定めること、又は中期計画として認可することが不適切であるため、一定の内容に記述を改める必要がある場合

検討を求める場合： 基本的には法人の判断を尊重するものの、より適切な記載にする観点から、記述内容について検討を求める必要がある場合

（「実施方針」より抜粋）

	修正	検討	
① 法律改正を要する事項など、文部科学大臣限りでは実施することができないため、文部科学大臣として中期目標に記載することにより責任を持って大学等にその実施を求めることができないもの	0件	—	
② 財政上の観点から修正の必要があるもの	3件 【別添1】	—	
③「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて（通知）内容にかんがみ修正の必要があるもの	1. 各法人の目指す方向性が明らかになるよう、一層の個性化が明確となる中期目標・中期計画とすること	—	全法人 （一般論として）
	2. 見直し内容等に沿って検討を行うこと	—	0件
	3. 検討の結果を中期目標及び中期計画の素案や年度計画に具体的に盛り込むこと	11件 【別添2】	0件
	4. 具体的な取組内容を可能な限り明らかにすること等	—	64件 【別添6】
④ 法令違反又は社会通念上著しく妥当性を欠くと認められるもの	0件	—	
⑤ 平成16年度から平成19年度までの業務実績に関する評価において改善事項等の指摘があった場合（必要に応じ）	—	0件	

## （2）修正を求める必要がある事項

素案に対し、以下の事項について修正を求める必要がある。

- 「②財政上の観点から修正の必要があるもの」として、多大な財政支出が見込まれるため適切な記述の追加を求めるものが2件、PFI 推進の観点からの記述の追加を求めるものが1件、計3件である。（【別添1】参照）
- 「③「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて（通知）」に示した見直し内容にかんがみ修正等の必要があるもの」として、組織の見直しについて中期目標及び中期計画への適切な反映を求めるものが2件、分かりやすい文言に修正を求めるものが8件、中期目標の記述に関して修正を求めるものが1件、計11件（10箇所）である。（【別添2】参照）
- 「形式的な不備があるもの」、「政府としての方針が示されている事項等統一的な対応が求められるもの」については、修正を求める。（【別添3】参照）

### (3) 検討を求める必要がある事項

「国立大学法人等の組織及び業務全般の見直しについて（通知）」の趣旨を踏まえ、以下の観点から、素案についてさらなる自主的・自律的な検討を求める必要がある。

- 各法人の目指す方向性が明らかになるよう、各法人の特性を踏まえた一層の個性化が明確になっているか

現在の素案については、「各法人の基本的な目標等と主な取組」（【別添4】参照）のとおり、既に一定の方向性は確認されているが、第2期は、各大学毎の教育研究の特色、地域性、その他の特性を踏まえた個性化をさらに明確に示すことにより各大学の目指す方向性をより一層明確化することが必要であることから、可能な限り特色ある発展の方向が明確に反映された内容とすることが期待される。

その際、前文から中期目標、中期計画に至るまで全体の整合性を図ることに留意する必要がある。

- 達成状況が事後的に検証可能な中期目標及び中期計画となっているか

中期目標及び中期計画は、適切な評価の実施、あるいは社会への説明責任の観点から、全体として可能な限り具体的な内容を含むことが必要である。

特に、事後的に検証可能な記述とするためには、①達成時期、数値目標その他実現しようとしている具体的な達成状況（ゴール）、及び②具体的な取組内容・取組例・手段（プロセス）双方が明確になっていることが望ましい。

定量的な目標設定が困難で定性的な記述になる場合であっても、可能な限りゴールを明確に記述するほか、プロセスを合わせて示すこと等により、事後的に検証可能な内容に改善することができるので、【別添5】に示すような例を参考にしながら、各法人ごとに記述を工夫することが期待される。

素案において、①ゴール、及び②プロセスのいずれも確認できない記述は、【別添6】のとおりである。これらは、取組状況が事後的に検証できるとは言い難い記述であり、各法人に対しては記述内容の改善について特に検討を求める必要がある。検討に際しては、各法人の自主性・自律性を尊重する観点から、当該記述を改めること、又は、当該記述を改めない場合にはその理由を明らかにすること、のいずれかの対応を選択できるようにすることが適切である。

なお、可能な限り工夫をしても中期目標及び中期計画に具体的に記述することが困難な場合、中期目標及び中期計画には基本的な内容を記載し、年度計画（年度計画での対応が困難な理由がある場合は、各法人の定めるアクションプラン等）に具体的な内容を記すのも一つの方法である。

## 素案の確認結果（概要）

①法律改正事項      なし（0件）

②財政上の観点      【修正】多大な財政支出：2件（三重大学、宮崎大学）  
PFI：1件（東北大学）

### ③組織及び業務全般の見直し

- 各法人の目指す方向性が明らかになるよう、一層の個性化が明確となる中期目標・中期計画とすること  
    【検討】全法人に対し、一般論としてさらなる検討を求める。
  
- 見直し内容に沿って検討を行うこと  
    なし（0件）
  
- 検討の結果を中期目標及び中期計画の素案や年度計画に具体的に盛り込むこと  
    <組織の見直し>  
        中期目標及び中期計画、年度計画、場合によってはアクションプラン等への反映を確認。以下について意見を提出。
  - ・ 博士後期課程  
            【修正】（中期目標及び中期計画への反映を求める）：2件（東北大学、佐賀大学）  
                （記述を分かりやすく）：7件（帯広畜産大学、群馬大学、三重大学、滋賀大学、島根大学、広島大学、九州工業大学）
  - ・ 法科大学院  
            【修正】（記述を分かりやすく）：1件（島根大学）※博士後期課程と同じ記述に対して
  - ・ 教員養成系学部  
            【修正】（中期目標の記述に関して修正を求める）：1件（愛知教育大学）
  - ・ その他の学部・研究科等      なし（0件）
  - ・ 附置研究所                  なし（0件）
  - ・ その他の組織                  なし（0件）
  
- <業務全般の見直し>  
        なし（0件）
  
- 具体的な取組内容を可能な限り定量的に明らかにすること  
    【検討】64件（29法人）

④法令違反、社会通念上著しく妥当性を欠く      なし（0件）

⑤暫定評価において改善事項等の指摘があった場合      なし（0件）



## 修正を求める必要がある事項（財政上の観点関係）について

49 三重大学	
中期目標 中期計画	<p>【中期目標】 4 （再開発及び環境整備） 高度化された現在臨床医学に対応できる附属病院の再開発を行う。</p> <p>【中期計画】 1 第Ⅰ期の病棟を竣工・開院するとともに、第Ⅱ、第Ⅲ期の診療等及び外来棟の再開発計画を策定し、<u>新築工事に着手する。</u></p>
確認内容	-
修正の理由・内容	多大な財政支出が見込まれ財源確保の目処が立っていない記述のため、「 <u>国の財政状況を踏まえ、（当該計画を）推進する</u> 」旨の記述を追加する。
79 宮崎大学	
中期目標 中期計画	<p>【中期計画】 ③平成25年度までに患者にわかりやすい診療体制、患者アメニティ、医療従事者に配慮した<b>病院再整備を進める。</b></p>
確認内容	<p>（確認資料より）</p> <p>1. 平成18年度から7年計画で病院再整備を進めており、現在までに中央診療部の増築・改修、平成21年度に外来診療棟の新設、平成22年度に旧外来棟および中央診療部門の一部を改修する。平成23年度からは病棟の改修を行う予定である。</p> <p>2. 今年度は平成22年度概算要求において旧外来棟および中央診療部門の一部改修等に係る申請を行った。平成23年度以降の病棟改修等に伴う概算要求についても計画どおり申請していく予定である。</p>
修正の理由・内容	多大な財政支出が見込まれ財源確保の目処が立っていない記述のため、「 <u>国の財政状況を踏まえ、（当該計画を）推進する</u> 」旨の記述を追加する。

10 東北大学	
中期目標 中期計画	<p>【中期計画】</p> <p>□施設設備の整備ニーズに関する点検評価を行い、整備事業のプランを策定し、計画的に進める。</p>
確認内容	<p>(確認資料より)</p> <p>「国立大学法人の第二期中期目標・中期計画の項目等について」(平成20年9月30日付け国立大学法人支援課長事務連絡)においては、第一期中期目標期間からの変更点として、中期計画に設定する最小単位の項目の総数は原則として100項目を下回る事となったことを踏まえて、本学においては、ひとつの中期計画が関係するさまざまな取組を網羅できるように包括的な記載内容とすることを学内共通の基本方針として決定し、「施設設備の整備・活用に関する目標を達成するための措置(中期計画)」についても、本学の第二期中期目標・中期計画(素案)全体との平仄を合わせた記載内容としているところです。上記の考え方により、現在のところ「<u>三条地区学生寄宿舍のPFI事業の推進</u>」については中期計画として具体的に特記していないところですが、<u>第二期中期目標期間においても、三条地区に限らず、PFI手法の活用の推進を図るとともに、また、さまざまな資金計画・整備手法を検討し、整備プランの策定とその推進を鋭意進めていくこととしています。</u></p>
修正の理由・内容	<p>施設整備におけるPFIの推進の観点から、民間資金の円滑な受入を図るため、中期計画に「PFI事業を推進する」旨の記述を追加する。</p>



## 修正を求める必要がある事項（組織等の見直し関係）について

## 1. 組織の見直し

&lt;中期目標及び中期計画への適切な反映を求めるもの&gt;

10 東北大学 (1)大学院博士課程の組織の見直し	
中期目標 中期計画	(記載なし)
確認内容	<p>(確認資料より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期目標・中期計画以外に反映(井上プラン2007(2009年度改訂版)：東北大学アクションプラン)</li> <li>・研究科ごとの博士前期課程への定員振替を逐次実施していることから第二期中期目標・中期計画には掲記しないものの、大学院教育の質の維持・確保の観点を抑えて、井上プランに掲記。</li> </ul> <p>・本学では、井上プランも踏まえ、6研究科で平成20～22年度の間大学院博士(後期)課程の入学定員の見直しを実施(又は予定)しています。その他の研究科では、現在のところ入学定員の見直しはなく、入学者選抜方法の改善等の措置に努めることとしています。このような状況を踏まえ、<u>第二期中期計画(素案)では具体的に掲記しないものの、今後とも入学定員や組織の見直しについては、各研究科において状況を分析し、慎重に検討の上、必要であれば逐次実施すべきものと認識しており、大学本部としても責任ある大学院教育の実施体制の維持を図るために注視していくこととしております。</u></p>
アクションプラン等	<p>(井上プラン2007(2009年度改訂版)：東北大学アクションプラン)の記載内容)</p> <p>各研究科の大学院教育体制をより効率的かつ実効的に改革するため、<u>これまでの大学院教育体制(分野、講座、専攻等)を再編する。</u></p> <p>学問分野の特性や公的評価を踏まえ、<u>大学院定員の再配分を検討する。</u></p>
修正の理由・内容	<p>入学定員、組織の見直し等の検討を行い、必要があれば逐次実施する旨を決定し、東北大学が定めるアクションプランへ反映されているが、<u>入学定員及び組織は教育研究の根幹をなす主要な事項であるため、入学定員の見直しや、アクションプランで予定されている「大学院教育体制の再編」及び「大学院定員の再配分を検討」という趣旨が中期目標及び中期計画へ適切に反映されるよう、記述内容について修正を求める。</u></p>
参考例	<p>例) A大学 入学定員、組織についてそれぞれ明示 目標：教育研究の質の向上及び教育研究活動の活性化に資する<u>組織整備</u>を実施する。 計画：教育研究の質の向上を図る観点から、社会的ニーズに即した適正規模の大学院課程・学士課程を実現するため、<u>学生定員と組織の見直し</u>を推進する。</p> <p>例) B大学 入学定員も含めて「組織の見直し」と記載 目標：<u>教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。</u> 計画：学術的・社会的役割の観点から<u>教育組織を見直し、必要に応じて整備する。</u></p>

75 佐賀大学	(1)大学院博士課程の組織の見直し
<p>中期目標 中期計画</p> <p>確認内容</p> <p>アクションプラン等</p>	<p>(記載なし)</p> <p>(確認資料より)</p> <p>・医学系研究科については、平成19～21年度の3ヵ年の平均志願倍率は1.13倍で、ほぼ全入の状況にあり、今後もこの傾向が進むと想定されることから定員の削減が必要との分析結果を得た。</p> <p>その結果、医学系研究科は、学位の質の保証ならびに教育の質の保証の観点から第2期中に定員を5人程度削減する方向でさらに検討を進めることとした。</p> <p>・平成23年度以降の概算要求事項として検討する。</p> <p>・医学系研究科博士課程の入学定員の削減については、現時点では適正な入学定員と明確な実施時期の結論を得ていない状況から、中期計画への反映（別表への記載）はできていない。なお、入学定員の見直しについては、引き続き検討を進めることとしているので、「第2期中に医学系研究科博士課程入学定員の削減計画を策定し実施する。」と年度計画またはアクションプランに記載することは可能である。</p> <p>・研究科の入学定員及び組織等の見直しについては、教育研究評議会教育改革推進部会（構成員：学長、教育担当理事、各研究科長など）において、引き続き毎年度各研究科の需給見込や教育の質保証などの分析結果に基づき検討を進め、必要に応じて見直しに努めることとしている。</p> <p>—</p>
<p>修正の理由・内容</p>	<p>医学系研究科については、第2期中に入学定員の削減が必要との分析結果を得ており、今後、具体の人数や実施時期について検討していく旨が明らかであるほか、研究科の入学定員及び組織の見直しについても、一定の体制の下で必要に応じて見直しに努めることとしている。<u>入学定員及び組織は教育研究の根幹をなす主要な事項であるため</u>、当該内容が中期目標及び中期計画へ適切に反映されるよう、記述内容について修正を求める。</p>
<p>参考例</p>	<p>例) A大学 定員、組織明示 目標：教育研究の質の向上及び教育研究活動の活性化に資する組織整備を実施する。 計画：教育研究の質の向上を図る観点から、社会的ニーズに即した適正規模の大学院課程・学士課程を実現するため、<u>学生定員と組織の見直し</u>を推進する。</p> <p>例) B大学 入学定員も含めて「組織の見直し」と記載 目標：<u>教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。</u> 計画：学術的・社会的役割の観点から教育組織を見直し、必要に応じて整備する。</p> <p>例) C大学 個別具体の研究科についても記載 目標：全学的な見地から教育研究組織について見直しを行う。 計画：学問の諸分野の発展、社会的要請、経営的な観点などの諸要因を総合的に勘案し、全学的な見地から教育研究組織の見直しを行う。<u>特に人間文化研究科においては、入学定員適正化の観点も含めて適正化を促す。</u></p>

<分かりやすい文言に修正を求めるもの>

<p>03 帯広畜産大学 (1)大学院博士課程の組織の見直し</p> <p>中期目標 中期計画</p> <p>確認内容</p> <p>アクションプラン等</p>	<p>【中期目標】 I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (2) 教育の実施体制等に関する目標 (P2) ③ 獣医・農畜産融合の基本方針の下、<u>教育の質の改善</u>に教職員が一致して取り組む。</p> <p>【中期計画】 I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 (P2) ③-2 教育の成果を検証するため、卒業・修了生及び就職先へのアンケート調査を実施し、その分析結果を<u>教育改善</u>に役立てる。</p> <p>(確認資料より) ・中期目標「獣医・農畜産融合の基本方針の下、教育の質の改善に取り組む」に対する中期計画で、「教育の成果を検証するため、卒業・修了生及び就職先へのアンケート調査を実施し、その分析結果を<u>教育改善</u>に役立てる。」という中には、<u>検証の結果、入学定員及び組織の見直しも必要な場合には、その問題に取り組んでいくことも含んでいます。</u></p>
<p>修正の理由・内容</p>	<p>中期目標の「<u>教育の質の改善に取り組む</u>」、中期計画の「<u>教育改善</u>」という表現は「必要な場合には<u>入学定員及び組織の見直しに取り組むことも含む</u>」とのことだが、<u>一般的に理解しやすい表現ではないため、意図する内容が中期目標及び中期計画に分かりやすく反映されるよう、記述内容について修正を求める。</u></p>
<p>参考例</p>	<p>例) A大学 入学定員、組織についてそれぞれ明示 目標：教育研究の質の向上及び教育研究活動の活性化に資する<u>組織整備</u>を実施する。 計画：教育研究の質の向上を図る観点から、社会的ニーズに即した適正規模の大学院課程・学士課程を実現するため、<u>学生定員と組織の見直し</u>を推進する。</p> <p>例) B大学 入学定員も含めて「<u>組織の見直し</u>」と記載 目標：<u>教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。</u> 計画：学術的・社会的役割の観点から<u>教育組織を見直し、必要に応じて整備する。</u></p>

19 群馬大学 (1)大学院博士課程の組織の見直し	
中期目標 中期計画	<p>【中期目標】</p> <p>Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標</p> <p>① 学長のリーダーシップの下、機動的な組織運営を図り、教育、研究、診療、社会貢献、国際交流等の各般にわたり、<u>不断の見直し</u>を行いつつ、<u>戦略的な学内資源配分</u>を行う。</p>
確認内容	<p>【中期計画】</p> <p>Ⅱ 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置</p> <p>① 教育、研究、診療、社会貢献、国際交流等の分野について重点とすべき内容を精選の上、<u>学内資源の配分</u>を行う。</p> <p>(確認資料より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院博士課程を見直すことについては、中期目標・中期計画における教育研究組織の「<u>不断の見直しを行う</u>」ことに該当する。結果として適切な資源配分にも繋がると考えている。</li> <li>・<u>学内資源配分</u>は、本学の教育、研究及び診療の全般にわたる組織評価を前提としており、①教育組織に重要な影響を有する<u>入学定員の取り扱い</u>や②個々の組織自体の<u>あり方等</u>を包含した表記である。</li> </ul>
アクションプラン等	—
修正の理由・内容	<p><u>中期目標及び中期計画の「学内資源配分」について、「教育組織に重要な影響を有する入学定員の取り扱いや個々の組織自体のあり方等」という趣旨を含むとのことだが、一般的に理解しやすい表現ではないため、意図する内容が中期目標及び中期計画に分かりやすく反映されるよう、記述内容について修正を求める。</u></p>
参考例	<p>例) A大学 入学定員、組織についてそれぞれ明示          目標：教育研究の質の向上及び教育研究活動の活性化に資する<u>組織整備</u>を実施する。          計画：教育研究の質の向上を図る観点から、社会的ニーズに即した適正規模の大学院課程・学士課程を実現するため、<u>学生定員と組織の見直し</u>を推進する。</p> <p>例) B大学 入学定員も含めて「組織の見直し」と記載          目標：<u>教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。</u>          計画：学術的・社会的役割の観点から<u>教育組織を見直し、必要に応じて整備する。</u></p>

49 三重大学 (1)大学院博士課程の組織の見直し

<p>中期目標 中期計画</p>	<p>【中期目標】 Ⅱ 業務運営の改善及び効率化 (1) 組織運営の改善に関する目標 1 (機動的・戦略的運営) <u>社会のニーズや環境変化に対応し柔軟かつ機動的な運営</u>を行うため、トップマネジメントによる速やかな意志決定と管理運営体制を強化する。</p> <p>【中期計画】 Ⅱ 業務運営の改善及び効率化 (1) 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置 (P7) 1 自主・自律的な業務の運営と改善体制を充実するため、各部局と本部組織との一体的かつ機能的な運営体制の構築を図るとともに、学長のリーダーシップ体制の強化と監事監査等の内部チェック体制を強化する。この体制を基に、<u>学生収容定員の適正管理</u>など改善活動の実質化や積極的な改善状況の公開等によってPDCAサイクルの定着を図る。 2 地域・社会のニーズや学術の発展動向に迅速かつ適切に対応するため、役員会や経営戦略室等における情報収集・分析体制及び経営協議会の機能を強化するとともに、学外者からの意見を業務運営に反映させ、<u>教育研究組織の見直し</u>や効果的な経費配分等に取り組む。</p>
<p>確認内容</p>	<p>(確認資料より)</p> <p>1. 中期目標での「<u>入学定員及び組織の見直し</u>」は、トップマネジメントによる速やかな意志決定と管理運営体制を強化し、社会のニーズや環境変化に対応し柔軟かつ機動的な運営のなかで行うこととしており、本件は、中期目標のⅡ-1-1 (機動的・戦略的運営) の「<u>社会のニーズや環境変化に対応し柔軟かつ機動的な運営</u>」の記述に含まれます。</p> <p>また中期計画での入学定員の見直しに関しては、学生収容定員の適正管理のなかで必要に応じて行うこととしており、中期計画のⅡ-1-1 の「この体制を基に、<u>学生収容定員の適正管理</u>など・・・」の記述に含まれます。</p> <p>組織の見直しに関しては、地域・社会のニーズや学術の発展動向に迅速かつ適切に対応するため、教育研究組織の見直しに取り組みたいと考えており、中期計画のⅡ-1-2 の「<u>教育研究組織の見直し</u>・・・」の記述に含まれます。</p>
<p>アクションプラン等</p>	<p>—</p>
<p>修正の理由・内容</p>	<p>中期目標の「<u>社会のニーズや環境変化に対応し柔軟かつ機動的な運営</u>」について、<u>入学定員及び組織の見直し</u>に関する取組を含むとのことだが、<u>一般的に理解しやすい表現ではないため</u>、意図する内容が中期目標及び中期計画に分かりやすく反映されるよう、記述内容について修正を求める。</p>
<p>参考例</p>	<p>例) A大学 入学定員、組織についてそれぞれ明示 目標：教育研究の質の向上及び教育研究活動の活性化に資する<u>組織整備</u>を実施する。 計画：教育研究の質の向上を図る観点から、社会的ニーズに即した適正規模の大学院課程・学士課程を実現するため、<u>学生定員と組織の見直し</u>を推進する。</p> <p>例) B大学 入学定員も含めて「組織の見直し」と記載 目標：<u>教育の実施体制・方法を継続的に自己点検</u>し、教育の質を高める。 計画：学術的・社会的役割の観点から<u>教育組織を見直し</u>、必要に応じて整備する。</p>

50 滋賀大学 (1)大学院博士課程の組織の見直し	
<p>中期目標 中期計画</p>	<p>【中期目標】 I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (2) 教育の実施体制等に関する目標 ○本学の教育理念を実現するために、<u>教員組織のあり方を検討し、適切に整備する。</u></p> <p>【中期計画】 I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 ○教育の実施体制を検証し<u>教育課程・教育内容の見直し</u>を行い、教員を適切に配置する。</p>
<p>確認内容</p>	<p>(確認資料より) 確認内容：中期目標には「教員組織のあり方を検討」、中期計画には「教育課程・教育内容の見直し」とありますが、ここには教育研究組織の見直しや入学定員の見直しも含まれるのでしょうか。(対象範囲が不明確なため、確認する趣旨。)</p> <p>法人からの回答：反映状況確認資料(通し番号3. .4)に記載のように、<u>教育学部の新課程や経済学部の夜間主コースを含めた、組織や入学定員の見直しを計画</u>している。</p>
<p>アクションプラン等</p>	<p>—</p>
<p>修正の理由・内容</p>	<p>中期目標の「教員組織のあり方を検討し、適切に整備」、中期計画の「教育課程・教育内容の見直し」の文言は入学定員や組織の見直しに関する取組を含むとのことだが、<u>一般的に理解しやすい表現ではないため</u>、これらに関し、意図する内容が中期目標及び中期計画に分かりやすく反映されるよう、記述内容について修正を求める。</p>
<p>参考例</p>	<p>例) A大学 入学定員、組織についてそれぞれ明示 目標：教育研究の質の向上及び教育研究活動の活性化に資する<u>組織整備</u>を実施する。 計画：教育研究の質の向上を図る観点から、社会的ニーズに即した適正規模の大学院課程・学士課程を実現するため、<u>学生定員と組織の見直し</u>を推進する。</p> <p>例) B大学 入学定員も含めて「組織の見直し」と記載 目標：教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。 計画：学術的・社会的役割の観点から<u>教育組織を見直し、必要に応じて整備</u>する。</p>

中期目標 中期計画	<p>【中期目標】</p> <p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>1 教育に関する目標</p> <p>(1) 教育の内容・成果及び実施体制等に関する目標(p4)</p> <p>⑦ 現代社会が抱える課題に機敏に対応できる柔軟な教員組織を構築する。</p> <p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標</p> <p>1 組織運営の改善及び事務等の効率化・合理化に関する目標(p7)</p> <p>③ 社会的ニーズの変化等に対応するため、必要に応じて<u>教育研究組織を、柔軟かつ機動的に編成するための見直し</u>を行う。</p> <p>【中期計画】</p> <p>II 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 組織運営の改善及び事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置(p7)</p> <p>3-1 全学的人件費枠を活用した戦略的な人員配置を行う。</p> <p>3-2 教育研究組織の定期的な検証を踏まえ社会的ニーズ等に対応した機能強化を図るための<u>資源配分</u>を行う。</p>
確認内容	<p>(確認資料より)</p> <p>(1) 大学院博士課程の組織の見直し</p> <p>・必要に応じた<u>組織等の見直し及び学生定員の見直し</u>は、今後の社会状況の変化等を常に意識し、必要であれば見直しを行うこととし、このことについては、中期目標・中期計画(素案)のI-1-(1)-⑦に「現代社会が抱える課題に機敏に対応できる柔軟な教員組織を構築する。」と記載し、II-1-③に「社会的ニーズの変化等に対応するため、必要に応じて<u>教育研究組織を、柔軟かつ機動的に編成するための見直し</u>を行う。」と記載している。また、中期計画II-1-3-2において「<u>教育研究組織の定期的な検証を踏まえ社会的ニーズ等に対応した機能強化を図るための資源配分</u>を行う。」と記載することにより、<u>今後の社会状況の変化等に応じ学生定員の見直し及び教育研究組織について柔軟に構築が図れるようにしている</u>。特に、個々の学部・研究科等の見直しについては、上記記載の中期目標・中期計画に含まれるものであるが、具体的には年度計画に記載することとしている。</p> <p>(3) 法科大学院の組織の見直し</p> <p>・<u>入学定員の見直しの趣旨は、中期目標II-1-③に伴う中期計画「3-2 教育研究組織の定期的な検証を踏まえ社会的ニーズ等に対応した機能強化を図るための資源配分</u>を行う。」に反映させている。</p>
アクションプラン等	—
修正の理由・内容	<p>中期目標及び中期計画の「学内(の)資源配分」について、組織の見直し及び入学定員の見直しに関する取組を含むとのことだが、<u>一般的に理解しやすい表現ではないため、意図する内容が中期目標及び中期計画に分かりやすく反映されるよう、記述内容について修正を求める。</u></p>
参考例	<p>例) A大学 入学定員、組織についてそれぞれ明示</p> <p>目標：教育研究の質の向上及び教育研究活動の活性化に資する<u>組織整備</u>を実施する。</p> <p>計画：教育研究の質の向上を図る観点から、社会的ニーズに即した適正規模の大学院課程・学士課程を実現するため、<u>学生定員と組織の見直し</u>を推進する。</p> <p>例) B大学 入学定員も含めて「組織の見直し」と記載</p> <p>目標：<u>教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。</u></p> <p>計画：学術的・社会的役割の観点から<u>教育組織を見直し、必要に応じて整備する。</u></p>

65 広島大学 (1)大学院博士課程の組織の見直し

<p>中期目標 中期計画</p>	<p>【中期目標】 II 業務運営の改善及び効率化 1 組織運営の改善に関する目標 (1) 柔軟な教育研究体制の構築に関する目標 ①学問の高度化・複合化・グローバル化へ対応できるよう、教育研究体制を構築する。</p> <p>【中期計画】 II 業務運営の改善及び効率化 1 組織運営の改善に関する目標を達成するための措置 (1) 柔軟な教育研究体制の構築に関する目標を達成するための措置 (P 4) ①教育組織と教員組織を分離し、<u>より柔軟な教育研究体制を構築する。</u></p>
<p>確認内容</p>	<p>(確認資料より) 確認内容：中期目標及び中期計画の「<u>教育研究体制を構築</u>」「<u>より柔軟な教育研究体制を構築</u>」という記述に、<u>組織及び入学定員の見直しが含まれると理解してよい</u>でしょうか。 法人回答：見解のとおりです。</p>
<p>アクションプラン等</p>	<p>—</p>
<p>修正の理由・内容</p>	<p>中期計画の「<u>教育組織と教員組織を分離し、より柔軟な教育研究体制を構築する</u>」という記述について、<u>組織及び入学定員の見直しが含まれるとのことだが、一般的に理解しやすい表現ではないので、意図する内容が中期目標及び中期計画に分かりやすく反映されるよう、記述内容について修正を求める。</u></p>
<p>参考例</p>	<p>例) A大学 入学定員、組織についてそれぞれ明示 目標：教育研究の質の向上及び教育研究活動の活性化に資する<u>組織整備</u>を実施する。 計画：教育研究の質の向上を図る観点から、社会的ニーズに即した適正規模の大学院課程・学士課程を実現するため、<u>学生定員と組織の見直し</u>を推進する。</p> <p>例) B大学 入学定員も含めて「<u>組織の見直し</u>」と記載 目標：<u>教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。</u> 計画：学術的・社会的役割の観点から<u>教育組織を見直し、必要に応じて整備する。</u></p>



<p>中期目標 中期計画</p>	<p>【中期目標】 I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標 [ 大学院課程の編成及び教育課程・教育方法に関する目標 ] 高い専門性と深い学識を持ち、卓越した能力と豊かな創造性を持って、研究・開発に従事できる人材の輩出を可能とするため、 (1) <u>多様な先進技術に対応できる専門力を培う仕組みを作り、</u> (2) <u>革新的で優れた技術を創出できる能力を育成する教育を行う。</u></p> <p>【中期計画】 I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置 1 教育に関する目標を達成するための措置 (1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標を達成するための措置 [ 大学院課程の編成及び教育課程・教育方法に関する目標を達成するための措置 ] ア 全学に亘ってモジュール制を展開し、<u>多様で有機的なコース／モジュール・システムを構築する。</u> イ 深い専門知識を実践力につなぐため、<u>多様な教育方策を策定・実施し、充実させる。</u></p>
<p>確認内容</p>	<p>(確認資料より) ・<u>入学定員や組織等の見直しについては、目標においては「多様な先進技術に対応できる専門力を培う仕組みを作り」に、計画においては「多様で有機的なコース／モジュール・システムを構築」及び「多様な教育方策を策定・実施し、充実させる。」の記述で対応している。</u></p>
<p>アクションプラン等</p>	<p>—</p>
<p>修正の理由・内容</p>	<p>中期目標の「多様な先進技術に対応できる専門力を培う仕組みを作り、」、中期計画の「多様で有機的なコース／モジュール・システムを構築」及び「多様な教育方策を策定・実施し、充実させる。」という記述について、組織及び入学定員の見直しに関する取組を含むとのことだが、<u>一般的に理解しやすい表現ではないため、意図する内容が中期目標及び中期計画に分かりやすく反映されるよう、記述内容について修正を求める。</u></p>
<p>参考例</p>	<p>例) A大学 入学定員、組織についてそれぞれ明示 目標：教育研究の質の向上及び教育研究活動の活性化に資する組織整備を実施する。 計画：教育研究の質の向上を図る観点から、社会的ニーズに即した適正規模の大学院課程・学士課程を実現するため、<u>学生定員と組織の見直しを推進する。</u></p> <p>例) B大学 入学定員も含めて「組織の見直し」と記載 目標：教育の実施体制・方法を継続的に自己点検し、教育の質を高める。 計画：学術的・社会的役割の観点から<u>教育組織を見直し、必要に応じて整備する。</u></p>

＜中期目標の記述に関して修正を求めるもの＞

46 愛知教育大学 (3) 教員養成系学部組織の見直し	
中期目標 中期計画	<p>【中期目標】（前文）</p> <p>愛知教育大学では、これらの目標を踏まえ、当面する6年間の対応として、愛知県内の出生数は平成元年以来ほぼ7万人を上回り、一定していることから、少子化の傾向は見ておらず、少人数学級への政策動向も含め、学校教員の需要は県下で1,500～2,000人規模を維持することが見込まれることから、<u>県内出身者が80%を超える愛知教育大学にあっては、教育学部の規模及び課程を維持した上で、教育内容の質の向上に努める。</u></p>
確認内容	<p>（確認資料より）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既に本学は、第一期（2007年度）において入学定員の振替を含む組織の見直しは行っており、<u>教員養成課程と現代学芸課程の2課程を維持することを決定したことを意味する。</u></li> <li>・地元進学率が全国一の愛知県にある国立大学として、本学が総合的素養教育を基礎に、小・中学校をはじめとする教員養成機能を本学の主軸として、教員という高度職業人の養成において全国トップレベルの教員就職率を維持し、併せて幅広い職業人の養成を進めるためにも「<u>教育学部の規模及び課程を維持</u>」することが適当と判断した。</li> <li>・機能別分化を促進し、大学としての個性化・特色化を進める上で、<u>教育組織の見直しは必須</u>であり、そのことを念頭に中期目標・中期計画に記載するとともに、効率化係数により大学教員をはじめとする教職員の削減が進行する中で、一定規模の学生数（たとえば30人以上）を単位教育組織（選修・専攻・コースなど）に割り振るなど、より効率的・効果的な教育組織への移行が必要との認識のもとに、<u>中期目標に「教員養成系課程及び現代学芸課程の教育組織の見直し」を記載した。</u></li> </ul>
アクションプラン等	—
修正の理由・内容	<p>国立大学法人をとりまく状況が大きく変化しつつある現在、国立大学法人として国民の要請に適切にこたえるため、<u>継続的な組織等の見直しが求められており、教育振興基本計画（平成20年7月1日閣議決定）においても、「時代や社会の要請に応える国立大学の更なる改革」が掲げられている。</u></p> <p>このような観点からは、<u>「規模及び課程を維持」と断定的に記載する目標を主務大臣として定めることは不適切であるため、当該趣旨を踏まえ修正を求める。</u></p>

## 修正を求める必要がある事項（その他）について

○ 「国立大学法人の第2期における中期目標及び中期計画の素案の修正等の実施方針」に基づき、「4. その他」として修正が必要な事項は以下のとおり。

- ・ 形式的な不備について
- ・ 総人件費改革に関する記述について
- ・ 情報セキュリティに関する記述について
- ・ 中期目標別表に記載する「学部・研究科等」について

## 形式的な不備について

素案の記述に形式的な不備がある内容及び当該部分への対応については以下のとおり。

### 中期計画の素案の別表の記載事項が欠けている、あるいは不十分なもの

宇都宮大学

収容定員について記載が欠けている → 追加を求める

東京外国語大学

収容定員について平成23年度分までの記載のみ

→ 平成27年度分までの追加を求める

### 中期計画の素案の別表の記載内容に事実誤認があるもの

金沢大学

法科大学院分の収容定員について記載内容に誤り → 告示に沿って修正を求める

北海道大学 外41大学

平成22年度概算要求における組織整備分（定員変更分）を踏まえずに完成定員を記載

→ 平成22年度概算要求における組織整備分（定員変更分）を踏まえた修正を求める

### 年度計画の別表が、中期目標及び中期計画の別表に併記されているもの

北見工業大学 他23大学

年度計画の別表を中期目標及び中期計画の別表に併記

→ 年度計画の別表の削除を求める

### その他

東京大学

中期計画の別表に附置研究所を記載 → 当該記載の削除又は修正を求める

中期目標の別表にある基本的な組織について、さらに詳細な内容を中期計画の別表に記載するものであり、中期目標の別表に記載のない組織が中期計画の別表に記されることは想定されていない。なお、中期計画本文への記述を妨げるものではない。

※ 上記はいずれも具体的な対応が限定されるため、修正（当該記述を書き換えること）、追加（新たな記述を増やすこと）、削除（当該記述を削ること）の別を明記している。

# 総人件費改革に関する記述について

## 総人件費改革について

いわゆる総人件費改革は、「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」（平成18年法律第47号）及び「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」（平成18年7月7日閣議決定）に基づき人件費削減を行うものであり、国立大学法人も、国家公務員の改革を踏まえた取組が求められている。

## 中期目標及び中期計画への記載について

いわゆる総人件費改革は、第2期中期目標期間も引き続き所要の取組が求められることから、各法人に対しては、記載内容の例を示し、総人件費改革に関する記載を求めた（平成21年6月10日付 事務連絡）。

各法人から提出された素案を確認したところ、全ての法人において総人件費改革に関する記載があったが、法人として求められる数値目標や期間等の記載が十分でない法人については、必要に応じて修正を求める。

### 「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」（抄）

第42条 総人件費改革は、国家公務員及び地方公務員について、その総数の純減及び給与制度の見直しを行うとともに、独立行政法人、国立大学法人等、特殊法人及び認可法人の役員及び職員についても、これに準じた措置を講ずることにより、これらの者に係る人件費の総額の削減を図ることにより行われるものとする。

第53条 独立行政法人等（独立行政法人（政令で定める法人を除く。）及び国立大学法人等をいう。事項において同じ。）は、その役員及び職員に係る人件費の総額について、平成18年度以降の5年間で、平成17年度における額からその100分の5に相当する額以上を減少させることを基本として、人件費の削減に取り組まなければならない。

2 独立行政法人等を所管する大臣は、独立行政法人等による前項の規定による人件費の削減の取組状況について、独立行政法人通則法（国立大学法人等にあつては、国立大学法人法）の定めるところにより、的確な把握を行うものとする。

### 「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」別紙（抄）

【公務員人件費・独立行政法人・公益法人】

#### II. 独立行政法人等

独立行政法人、国立大学法人の人件費については、既定の改革を確実に達成するとともに、国家公務員の取組を踏まえて、更に抑制する。また、個々の独立行政法人の業務等については、それぞれの政策分野の改革の中で厳しく見直す。

#### (1) 人件費

##### ①既定の改革の確実な達成

独立行政法人等について、既定の人件費改革（2010年度まで）を確実に達成し、これにより退職手当及び福利厚生費を含め着実に削減する。非常勤職員手当についても業務効率化の取組の中で抑制を図る。

② さらに、国家公務員の改革を踏まえ、人件費改革を2011年度まで継続するとともに、官民給与の比較対象企業規模の見直しによる公務員給与改定を反映する。

# 情報セキュリティに関する記述について

## 情報セキュリティについて

情報セキュリティ政策会議（内閣官房長官）が策定した「第2次情報セキュリティ基本計画」及び、同基本計画の達成に向けた具体的な年度計画として定められた「セキュア・ジャパン2009」において、独立行政法人等の情報セキュリティ対策の推進を図ることが求められている。

### 「第2次情報セキュリティ基本計画（平成21年2月3日情報セキュリティ政策会議決定）」

(オ)独立行政法人等の情報セキュリティ対策の推進

独立行政法人等の情報セキュリティ対策を推進するため、独立行政法人等を所管する政府機関は、中期目標の中に情報セキュリティ対策に係る事項を明記し、独立行政法人等が組織として情報セキュリティ対策に取り組む体制を構築させる。各独立行政法人等は、その業務特性及び対策の実施状況に応じて、政府機関統一基準を含む政府機関における一連の対策を踏まえ、自らの情報セキュリティ対策に係るPDCAサイクルを構築する。また、独立行政法人等及び独立行政法人等を所管する政府機関は、緊急時を含め実効性のある連絡体制を整備する。

### 「セキュア・ジャパン2009（平成21年6月22日情報セキュリティ政策会議決定）」

(オ)独立行政法人等の情報セキュリティ対策の推進

独立行政法人等の情報セキュリティ対策を推進するため、独立行政法人等を所管する政府機関は、中期目標の中に情報セキュリティ対策に係る事項を明記し、独立行政法人等が組織として情報セキュリティ対策に取り組む体制を構築させる。各独立行政法人等は、その業務特性及び対策の実施状況に応じて、政府機関統一基準を含む政府機関における一連の対策を踏まえ、自らの情報セキュリティ対策に係るPDCAサイクルを構築する。また、独立行政法人等及び独立行政法人等を所管する政府機関は、緊急時を含め実効性のある連絡体制を整備する。

## 中期目標及び中期計画への記載について

国立大学法人も「独立行政法人等」に含まれており、中期目標及び中期計画を通じて情報セキュリティ対策に取り組むことが求められていることから、中期目標及び中期計画素案に情報セキュリティ対策に係る事項の記載のない法人に対し、中期目標及び中期計画の修正を求める（情報セキュリティについて、中期目標及び中期計画ともに明確に記載があるのは4法人）。

なお、記載に際しては、例えば、法人におけるリスク管理や法人の法令遵守に関する取組の一環として位置付けること等が考えられるが、国立大学法人の場合は独立行政法人とは異なり、各法人が中期目標の実際上の作成主体であることから、記載内容、中期目標及び中期計画における記載場所については各法人の判断に委ねることとする。

（記載要件）情報セキュリティ対策に取り組む趣旨が明確に分かること。

各法人の記載例は下の通り。

例) A大学

(目標)

情報セキュリティ基盤を強化する。

(計画)

情報セキュリティ及びコンプライアンスを強化するための情報基盤システムを段階的に導入する。

例) B大学

(目標)

情報管理の徹底を図るため、情報セキュリティを高める。

(計画)

情報セキュリティの教育プログラムを整備し、情報セキュリティの監査の質を向上させる。

例) C大学

(目標)

学生や教職員等の安全や健康を守る体制の充実を図るとともに、情報セキュリティの基本方針に則った、安心・安全な情報の確保に努める。

(計画)

情報セキュリティの高度化を図るため、ネットワーク環境の高機能化及びバックアップ体制の多重化を推進するとともに、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)を継続的に改善し、セキュリティ文化の学内への浸透を図る。

ICTに関する研修会を毎年開催し、職員のスキルアップやセキュリティ意識の向上を図ることにより、業務のICT化に対応した人材を育成する。

## 中期目標別表に記載する「学部・研究科等」について

### 中期目標別表記載事項について

(基本的な考え方)

国立大学法人化前は、国立大学法人の組織については、国立大学設置法で定められていたが、法人化後は、主な教育研究組織は、中期目標別表に記載することとされた。

国立大学法人の中期目標は、文部科学大臣が定め、各法人に示すものであることから、「学部・研究科等」として別表に記載する組織は、学部、研究科の他に、学群、学域、学府、教育部など文部科学大臣が設置や編成に関与するものに限定することが適切である。

(第2期中期目標の素案の別表について)

第2期中期目標の素案の別表に記載されている教員の所属組織（研究組織）及び専攻科については、それぞれ以下の理由から、削除を求めることとする。

### 教員の所属組織（研究組織）について

従来、各大学においては、大学院の教育研究組織として、研究科が設置され、教育組織と教員組織（研究組織）が一体的であったが、平成11年5月の学校教育法改正に伴い、大学院においては、「研究科以外の教育研究上の基本組織」の設置が可能となり、国立大学については、教育上の目的を重視した編成である「教育部」などの名称の学生の所属組織と、研究上の目的を重視した編成である「研究部」などの名称の教員の所属組織に大学院組織を分離させる大学も増えている。

教育部などの学生の所属組織（教育組織）については、国立大学が法人化された後も概算要求や大学設置・学校法人審議会を通じて文部科学大臣が設置や編成の状況を把握している。

一方、研究部などの教員の所属組織（研究組織）については、国立大学が法人化された後は、概算要求や大学設置・学校法人審議会の関与がない事項として各大学の独自の判断で設置することが可能となっている。

1期中期目標別表及び第2期中期目標素案別表においては、学生の所属組織（教育組織）だけでなく教員の所属組織（研究組織）も併記して記載している例が多くみられるが、教員の所属組織（研究組織）については、文部科学大臣として設置や編成に関与していないことから、中期目標別表記載事項とはしないこととする。

### 専攻科等について

学校教育法上は、専攻科及び別科は大学に「置くことができる」とされており、大学に置くことが常例とされている学部・研究科等とは異なる位置づけである。また、設置基準上の定めもなく、各大学の独自の判断で設置することが可能となっている。

第2期中期目標素案別表において専攻科を記載している例があるが、文部科学大臣が設置や編成に関与していないことから、中期目標別表記載事項とはしないこととする。

※ 上記は、具体的な対応が限定されるため、修正（当該記述を書き換えること）、追加（新たな記述を増やすこと）、削除（当該記述を削ること）の別を明記している。



中期目標の素案(別表)に記載されている教員の所属組織(研究組織)・専攻科

No.	大学名	教員の所属組織(研究組織)
1	北海道大学	水産科学研究院 環境科学研究院 理学研究院 薬学研究院 農学研究院 先端生命科学研究院 教育学研究院 メディア・コミュニケーション研究院 保健科学研究院 工学研究院 公共政策学連携研究部
10	東北大学	教育情報学研究部
21	千葉大学	医学研究院 薬学研究院
22	東京大学	情報学環 公共政策学連携研究部
23	東京医科歯科大学	疾患生命科学研究部
24	東京外国語大学	総合国際学研究院
26	東京農工大学	工学研究院(仮称) 農学研究院(仮称)
32	一橋大学	国際・公共政策研究部
33	横浜国立大学	工学研究院 環境情報研究院
37	富山大学	医学薬学研究部 理工学研究部
38	金沢大学	人間社会研究域 理工研究域 医薬保健研究域
43	静岡大学	創造科学技術研究部
52	京都大学	地球環境学堂 公共政策連携研究部 経営管理研究部
59	奈良教育大学	特別支援教育特別専攻科(注2)
67	徳島大学	ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部 ヘルスバイオサイエンス研究部 ソシオテクノサイエンス研究部
73	九州大学	人文科学研究院 比較社会文化研究院 人間環境学研究院 法学研究院 経済学研究院 言語文化研究院 理学研究院 数理学研究院 医学研究院 歯学研究院 薬学研究院 工学研究院 芸術工学研究院 システム情報科学研究院 総合理工学研究院 農学研究院
74	九州工業大学	工学研究院 情報工学研究院
77	熊本大学	医学薬学研究部

注 1. 下線は第2期素案から新たに記載されているもの  
2. 奈良教育大学は専攻科を記載している



## 各法人の基本的な目標等と主な取組

前文は、自らの特性を踏まえ一層の個性化を図る観点から、大学の基本的な目標を記載。

中期目標は、大学の基本的な目標を踏まえて設定。中期計画は、中期目標を達成するための具体的な措置を記載。 ※平成21年9月30日までに提出の素案を元に作成。

国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
01 北海道大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育研究の世界的拠点大学としての役割を果たすためにあらゆる活動を「世界の中の北海道大学」という観点から推進</li> <li>○教育:「全人教育」「国際性の涵養」</li> <li>○研究:「実学の重視」「フロンティア精神」</li> <li>○社会貢献:北海道の基幹総合大学として地域社会と産業界を世界につなぐ役割を果たす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特色的な研究(情報、生命、環境、エネルギー分野、実証型・フィールド型 等)の重点支援</li> <li>○国際戦略本部を中心に組織的国際連携、北京オフィスの積極的活用</li> <li>○先端設備を地域産業界等に開放</li> <li>○附属病院 高度先進医療、「腫瘍センター」中心の修学的治療、臨床教育充実 等</li> <li>○総長室再編、全学的教育及び部局横断的研究を統括実施する「機構」と特定事項の企画立案等を行う「本部」に再編</li> </ul>
02 北海道教育大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「常に学生を中心とした(Student-first)」大学を目指す</li> <li>○地域の教育研究拠点として「北海道になくてはならない大学」を目指す</li> <li>○教育に関する高度な専門的職業人と幅広い教養を備えた職業人の養成</li> <li>○へき地・小規模校教育、理数科教育等での国際協力事業、先導的・実践的な教育研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○北海道の特色を生かしながら特色ある教育内容を重点的に推進、特徴的な研究を創造(へき地・小規模校教育、特別支援教育、理数科教育等)</li> <li>◎大学と一体となった附属学校の運営を推進</li> <li>○理数科教育を中心に国際協力事業を推進(文部科学省、JICA、JICE等と協力)</li> <li>○連合大学院への参画、共同大学院の可能性等の検討を行い、博士課程の設置を目指す。</li> </ul>
03 室蘭工業大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第一の使命:国際的通用性を持った科学技術者を育成 総合的な理工学教育、高度な専門科学技術者養成、創造的な研究者・科学技術者養成</li> <li>○第二の使命:科学技術分野における知の創造 特定分野における研究の高度化、地域における知の拠点</li> <li>○第三の使命:産学官連携、地域貢献</li> <li>○大学間ネットワークを実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な理工学教育に関する研究を組織、創造的な教育プログラム開発推進のため重点的な予算措置</li> <li>○重点的特定研究分野として環境科学・防災分野、航空宇宙機システム分野、新産業創出分野を設定</li> <li>○学術交流協定校の拡大、国際共同研究を展開し、国際的な学術集会を開催</li> <li>○知的財産本部と地域共同研究開発センター(地域連携・産官学連携)が一体となって新技術を普及</li> </ul>
04 小樽商科大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国際的視野と専門知識及び豊かな教養と倫理観を備えた社会の指導的役割を果たす品格ある人材を育成するため、実学教育を展開</li> <li>○自立した高い研究能力を有する人材、高度な専門的知識を有する職業人を育成</li> <li>○実学的研究、諸分野の理論研究及び基礎研究</li> <li>○地方国立大学として地域に開かれ、地域経済の活性化に貢献する大学をめざす</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎語学、実学重視の伝統と特徴を活かし、体系的、組織的な学士課程構築</li> <li>◎企業家精神を備えた高度専門職業人育成の観点から教育課程検証・改善</li> <li>◎ビジネス創造センターを中心に産学官連携活動を推進</li> <li>◎外国大学との教育研究の交流、高大連携の充実、地域講座の開催、施設等の開放</li> </ul>
05 帯広畜産大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミッション:「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域及び国際社会へ貢献</li> <li>○ビジョン:「学びあいのコミュニティ」創出、獣医・農畜産融合の視点から人材育成、生命・食料・環境分野に関するトップレベルの学術研究拠点、研究の成果を社会に還元して地域および国際社会の持続的発展に貢献</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○獣医・農畜産融合の視点に基づいた教育方法の改善(学士課程)、重点的な教員配置</li> <li>○獣医学教育を充実させるため、北海道大学との共同教育課程を実施</li> <li>◎生命・食料・環境に関する世界水準の学術研究を推進(食の安全、原虫病研究センター)</li> <li>○地域連携推進センターへ再編し連携体制整備、ライフサイエンス分野を中心とする技術移転</li> </ul>

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
06	旭川医科大学	○基本的な目標 1. 高い生命倫理観を持ち、高度な実践的能力を有する医療職者養成 2. 国際的視野から重点領域分野の研究の積極的支援、先端的研究シーズ育成 3. 社会に開かれた大学、産学連携による共同研究推進 4. 地域の基幹病院として地域医療の先導的役割 5. 財政基盤の安定化、健全な大学運営	○生命倫理・医療哲学に関する科目の充実、地域医療教育を検証・充実 ○生命科学の研究、地域に特異的な疾患の調査及び病態解明に関する研究、遠隔医療の高質化と利用促進 ◎住民へ予防・健康医学等の啓発活動(旭川医科大学派遣講座の充実)、○医療サービスの充実、地域関係機関や自治体との連携拡充 ○遠隔医療センターの国際機能を拡張
07	北見工業大学	○平成22年で開学50周年、北海道東部に存在する唯一の工学部を有する大学 ○基本目標:①向学心喚起、創造性育成、将来の夢を拓く教育、②個性に輝き、知の世界をリードし、地域特色のある研究、③地域のニーズに応え、地域をリードし、地域の発展に貢献、④国際的視野を踏まえた教育研究等 ○「学生の元気が大学の活力」、企業の開発現場で役立つ高度専門技術者の育成、「自然と調和するテクノロジーの発展」、「寒冷地域に根ざし、役立つ研究」	○工学基礎科目等の科目数見直し、短期的集中的な学習が効果的な科目について週2回の授業方式導入 ◎「個性化」「高度化」を目指した研究の推進 ○社会連携教育プログラム検討WGを設置し、小中学生・高校生及び社会人対象の教育支援プログラム検討 ○高齢化・過疎化等地域医療問題や介護、食の安全、地域経済活性化等の問題に対応する取組 ○国際共同研究、国際シンポジウム、国際交流センター
08	弘前大学	○中規模総合大学という特徴、青森県の特性を教育研究および社会貢献の中心課題とする ○世界的教育研究拠点の形成、地域の活性化を支える高い教養と幅広い知識を有する社会人と高度専門職業人を養成 ○エネルギー、地球温暖化・環境および食に関わる諸課題を中心とした研究、被ばく医療を含む地域医療、小・中・高生理科離れ対策事業等社会連携事業、北東北国立3大学連携推進会議等による学外連携	○地域の求める特色ある人材を育成 ○競争的優位性のあるところ・脳、精鎖工学の研究、世界自然遺産白神山地を対象とした研究、地域の活性化を推進する研究 ○弘前大学サテライトを拠点とした社会連携事業、北東北国立3大学との連携による教育・研究・社会貢献 ○附属病院 高度救命救急センター設置、NICU,GCU整備/附属学校「拠点校」として整備、「モデル校」としての教育活動
09	岩手大学	○地域における知の府として役割を果たす「イーハトーブの学舎」として教育、研究、社会貢献活動を推進 ○使命:国際的な視野を持ち、幅広い教養と深い専門性を備えた多様な人材、高度専門職業人および研究者の育成を目指す、持続可能な共生社会の形成に寄与	◎社会のニーズを踏まえた人材養成目的に沿って修士課程、博士課程を充実 ◎特色ある研究や水準の高い研究を重点的に推進(地域課題研究等) ○北東・地域大学コンソーシアムの連携による知的財産の活用・技術移転体制の充実 ○いわて高等教育コンソーシアムの代表として教育環境整備・教育力向上 ○北東北国立3大学との連携による教育・研究・社会貢献
10	東北大学	○開学以来の「研究第一主義」「門戸開放」「実学尊重」の精神を踏襲、独創的な研究を基盤として応答教育を推進する総合大学 ○教育目標・教育理念-「指導的人材の養成」 使命-「研究中心大学」 基本方針-「世界と地域に開かれた世界のリーディング・ユニバーシティ」	◎東北大独自の教養教育カリキュラムの再構築、○異分野融合領域における高度な研究人材養成のための教育プログラム実施 ○東北大学進学への動機付けを図るための広報活動 ○長期的視野に立つ基盤研究と戦略的研究、新機軸研究、基礎から臨床への橋渡し研究、原子分子材料科学高等研究機構の強化、国際共同研究 ○社会の要望を取り入れた企画、大学間連携、サイエンスパーク構想、国際的ネットワークへの参加 ◎附属病院 質の高い医療の提供及び医療サービスの向上
11	宮城教育大学	○「教員養成教育に責任を負う大学」、教員養成に一本化した専門性の高い単科教育大学 ○基本的な目標:教員養成教育の分野で真に価値ある大学を目指して、教育研究の充実に努める ○教育面での重点目標は「豊かな人間力」を培う、研究を進化させ「教員養成マインド」に基づき教師教育へと活用・集約	○教育理念等に応じた教育課程を構築、「人間力教育」「キャリア教育」の充実、「教員養成教育」の特性に配慮した「教育の質の向上」、教員のチーム・ティーチングによる教育、教育実践への参与や観察を重視 ○教科教育、教職教育等の基礎となる研究、地域の教育の向上に資するような研究、 ○高大接続、持続発展教育(ESD)推進、国際教育協力、グローバルな教育ネットワークへの参加 ○附属学校 大学との連携、共同研究等

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
12	秋田大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな地域資源を有する北東北の基幹的な大学、学生と教員との全学的な知の交わりが躍動する、学習者中心の大学</li> <li>○地域社会を担う専門的職業人、国際社会に活躍する高度専門職業人、学術を担う研究者の育成</li> <li>○教育内容等の国際水準維持、特色ある研究活動推進、社会貢献における地域の羅針盤、国際化の環境整備、大学経営における存立基盤の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教育・研究活動に対する社会の要請に対応</li> <li>○重点的研究(生命科学の先端的な研究、資源素材系)、地域的特性を踏まえた研究(脳血管障害、がん・免疫、自殺予防、秋田学・白神学)</li> <li>○在学生の海外留学、海外派遣事業・招へい事業の強化</li> <li>○北東北国立3大学との連携による教育・研究・社会貢献</li> <li>○附属病院 健全な病院経営推進、移植・再生医療等推進／附属学校 学部と連携</li> </ul>
13	山形大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本理念 1. 学生教育を中心とする大学創り 2. 豊かな人間性と高い専門性の育成 3. 「知」の創造 4. 地域及び国際社会との連携 5. 不断の自己改革</li> <li>○重点目標 学士課程教育を通じ、自律して力強く生き、他者を理解し、共に社会を構成していく力を養う 東北地区有数の総合大学としての資源を活かし、地域における知の拠点を形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基盤教育(教養教育)プログラムの整備・責任部署整備、フィールド活動や体験型授業、専門分野の特性・社会的ニーズに応じたカリキュラム編成</li> <li>○学部横断的なプロジェクト研究推進、世界レベルの先進的研究、地域に根ざした研究等重点支援</li> <li>○地域との連携、産学官連携、国際交流活動(海外での学習体験等)、海外サテライトの活用等、地域の大学・教育機関・文化施設等との連携</li> <li>○附属病院 患者中心の医療 / 附属学校 効率的な学校運営、実践的な教育研究</li> </ul>
14	福島大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域社会に存在感と信頼感ある学術文化拠点として更なる発展を目指す</li> <li>○使命「教育重視の人材育成大学」</li> <li>○地域社会に貢献できる人材育成、「自由で自律的な学び」を推進し「学生のための大学づくり」を実現、地域の研究拠点、アジア・太平洋地域との交流強化を基軸とした世界に向けた教育研究の展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「福大スタンダード」に基づく教育の質の保証、「自己デザイン領域」科目、多様な教育プログラム、社会のニーズを把握しカリキュラム編成の改善等、総合的な志願者拡大戦略</li> <li>○地域の自治体、企業等との連携による研究、地域創造支援センターの機能・活動の充実、</li> <li>○国際化のための推進組織整備、学術交流協定校の拡大等</li> <li>○附属学校 大学との連携強化、地域のセンター校としての役割を果たす</li> </ul>
15	茨城大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 首都圏北部の立地、農業の活発な地域的特色を生かし、総合大学として多彩に発展</li> <li>○世界水準の教育を行う大学として国際感覚を身につけた職業人、高度専門職業人や研究者を養成、世界水準の研究を行う大学としてサステナビリティ学等多様な学術研究の創出、国際水準の成果発信、高い社会貢献機能を有する大学として地域社会の発展に貢献、特にアジアとの国際交流を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教養教育内容と教養科目の精選、◎質の整った目的の人材を育成、◎教育効果を高めるため組織的・総合的的学生支援推進</li> <li>○「茨城大学の研究推進方針」に基づく研究推進、重点研究(フロンティア応用原子科学関連等)</li> <li>○「茨城大学地域連携21世紀プラン」、地域のニーズに対応した社会人教育、国際交流事業重点的に推進</li> <li>○附属学校 設置目的に則り、教育及び教育実習事業を展開</li> </ul>
16	筑波大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あらゆる面で「開かれた大学」を目指し「柔軟な教育研究組織」と「新しい大学の仕組み」を率先して実現、我が国における大学改革を先導する役割</li> <li>○知の全ての分野において幅広い教育研究活動を展開することが可能な総合大学</li> <li>○国際的に卓越した研究、筑波学園都市の中核として社会の発展に貢献、国際的な信頼性と発進力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎教養教育再構築、世界水準の教育課程、教育の質の保証のための国際水準の仕組み</li> <li>◎幅広い学問分野において国際的に卓越した水準の成果を達成、研究支援センターの改組・再編</li> <li>○国際公募による外国人教員の任用拡大、英語のみで学位取得可能なコース及び単位互換の拡充、留学生に対する日本語教育・生活支援・キャリア支援</li> <li>○連携大学院の強化充実、つくば3Eフォーラム</li> <li>○附属病院 優れた医療人養成、新たな治療法の開発等 / 附属学校 大学との連携強化、実験モデルの公表</li> </ul>
17	筑波技術大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聴覚・視覚障害者を対象とする我が国唯一の高等教育機関、幅広い教養と専門的、応用的能力を持つ専門職業人を養成</li> <li>○国内外の障害者教育及び職業自立の発展に資する</li> <li>○大学院及び理療科教員養成の課程等の設置を視野に教育研究を充実する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○聴覚・視覚障害留学生の受け入れ促進、チューター制・アドバイザー制により障害の程度に配慮したきめ細かい指導・評価方法の導入、障害に起因する社会生活上の困難に関する相談対応等の就職後のフォローアップ推進</li> <li>○障害者に係る教育機器・障害補償システム・学習資料等の研究開発の成果を発表するため公開講座・研修会を実施</li> </ul>

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
18	宇都宮大学	<p>○地域の「知」の拠点、広く社会に貢献すべく開かれた大学、キラリと光る元気な大学</p> <p>○未来を切り開く高度な専門職業人を養成、光学等特定分野の高水準で特色ある研究、社会関係機能を高め、広く国際社会・国際交流に貢献する積極的な活動を展開</p>	<p>◎学士課程 学生の興味関心に対応、国際的な通用性も視野に入れた教育方法、○大学院課程 学生の実践的な応用力や創造性、PBL教育</p> <p>○「個性的で発展性のある研究プロジェクト」等支援、特定分野で高い水準の教育研究拠点の形成</p> <p>○地域連携協議会の充実、「大学コンソーシアムとちぎ」と連携した産学官連携活動・等強化、海外の同窓生ネットワークを構築、学生の通訳ボランティア活動</p> <p>○附属学校 大学との連携強化、共同研究推進、教育委員会等との連携による研究や研修</p>
19	群馬大学	<p>○基本理念：北関東を代表する総合大学、知の探求、伝承、実証の拠点として豊かな教養と高度な専門性を持った人材を育成、先端的かつ世界水準の学術研究を推進、地域社会から世界にまで開かれた大学として社会に貢献</p> <p>○目標：豊かな人間性、広い視野と探求心、基礎知識に裏打ちされた深い専門性を有する人材の育成、重点領域の国際的な研究・人材育成拠点形成、地域の知の拠点・知の社会への還元・地域医療を担う中核・地域社会の活性化に貢献、効率的な大学運営等</p>	<p>○学士力を高める教育、高度専門職業人、研究者それぞれに応じた指導、成績優秀な学生の顕彰・修了年限を短縮、</p> <p>○プロジェクト型研究、地域の統制に根ざした諸課題に関する研究</p> <p>○海外留学生受け入れ等、教職員の国際交流、外国人研究者の招聘、公開講座・各種体験教室・高大連携事業の実施</p> <p>◎附属病院 患者中心の医療を推進 / 附属学校 連携により教員養成教育の機能を強化、地域の教育のモデル校</p>
20	埼玉大学	<p>○基本的な使命 時代を超えた大学の機能である知を継承・発展、新しい価値を創造</p> <p>○基本目標 学術研究拠点として存在感ある総合大学、社会に信頼される大学、現代が抱える諸課題を解決、産学官連携により知の具体的活用を促進、社会の期待に応える大学、世界に開かれた大学、国際社会に貢献する大学</p> <p>○多様なニーズ・研究リソースを持つ首都圏の一角を構成する埼玉県下唯一の国立大学</p>	<p>○年次ごとの段階履修に配慮したカリキュラムを設計、GPIに基づく厳正な成績評価</p> <p>○重点研究拠点(脳科学融合研究センター、環境科学研究センター)、地域産学官連携拠点形成</p> <p>○海外留学等含む特別教育プログラムを実施、外国人研究者等受け入れ強化し国際通用制のある特別教育プログラム実施 / ○研究成果の公開・公開講座、地域産業の発展を通じて社会に貢献</p> <p>◎附属学校 教育学部との有機的な連携強化</p>
21	千葉大学	<p>○人類の文化の継承と創造の拠点</p> <p>○世界を先導する大規模総合大学として有為な人材を育成(専門的職業人、目的に沿った人材、総合的能力を持った職業人、高度専門職業人、研究者)、世界的な研究拠点を育成、国際化した知の発信拠点形成、より高きものをめざして積極的に協働し自律的に改革</p>	<p>○飛び入学制度の充実、早期卒業制度整備、大学院への早期入学制度を拡充</p> <p>○世界最高水準の研究拠点形成、中核的研究拠点整備等</p> <p>○留学生積極的受け入れ、外国人教員・研究者の積極的採用、国際共同研究の推進、学生・教員の海外派遣</p> <p>○附属病院 地域医療の中核機関として機能するシステムを構築 / 附属学校 心の健康支援、教育支援ステーションの充実</p>
22	東京大学	<p>○知の最先端に立つ世界最高水準の研究、充実した教養教育を基盤とした世界的教育研究拠点の役割</p> <p>○使命 教育研究の質の高度化を通して国内外の多様な分野において指導的役割を果たす人材を育成</p> <p>○「開かれた大学」として資質・能力を有する国内外の全ての者に広く門戸を開く、大学や国境を越えた教育研究ネットワークを拡充、多様性に富む教育研究環境の実現</p>	<p>○リベラル・アーツ教育を重視、専門分野にとらわれない教養教育、多様な進路を踏まえたキャリア指導</p> <p>○世界最高水準の人材を集める研究の多様性を確保する観点から総長が資源を適切に配分</p> <p>○海外拠点活用、英語で学位取得できる教育プログラム整備、外国人留学生に対する日本語教育を強化・拡充、博士論文の外国語での執筆を推進</p> <p>○公開講座等、初等中等教育の質の改善に寄与、学術標本等の修復・保存・展示等</p> <p>◎附属病院 良質な医療人の養成、適切な運営基盤確保 / 附属学校 中等教育学校のモデル校としての役割を果たす</p>
23	東京医科歯科大学	<p>○基本的目標</p> <p>1 人材養成(幅広い教養、豊かな感性、自己問題提起・解決型の創造力、国際性豊かな人材の養成)、2 世界をリードする研究者・医療人養成、3 国際的に最先端の基礎研究・臨床研究、5 高度医療と社会貢献の拠点としての病院機能の強化、6 患者中心の医療を実践する人材、7 教育研究診療を通じた国際貢献、8 多様なニーズの多様化に対応した教育・研究</p>	<p>○医歯学融合型教育を新たに構築(学士課程)、連合・連携している大学と共同で大学院分野における教育を充実</p> <p>○先端医歯学研究等に重点、世界最高水準の先端研究拠点形成</p> <p>○国際化を支援する学内体制強化、国際教育研究拠点網構築</p> <p>◎附属病院 管理運営体制の強化、安全で良質な医療の提供等 / 附属学校 高度な専門的知識と技能を備えた医療従事者育成</p>

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
24	東京外国語大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な目標 世界諸地域の言語・文化・社会に関する教育と研究を通じて地球社会における共存・共生に寄与</li> <li>○さまざまな文化的背景を持つ世界諸地域の人々と協働して地球の課題に取り組むことができる人材を養成、領域横断的な創造的研究を推進し、地球社会が直面する諸問題の解決に寄与、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語教育と学術専門分野教育によるダブルメジャー教育、26専攻語と関連深い地域の文化・社会に関する地域科目の構造化、先端的な専門研究者及び高度専門職業人のための多様なキャリアパス構築</li> <li>○世界の言語、文化、社会に関する複合的、領域横断的な研究等を推進、アジア・アフリカの言語文化に関する共同研究プロジェクト</li> <li>○日本語教育の世界的な拠点、学生の海外留学・研究・インターンシップ参加支援</li> </ul>
25	東京学芸大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的 我が国の教員養成の基幹大学として、豊かな人間性と科学的精神に立脚した学芸諸般の教育研究活動を通して高い知識と教養を備えた創造力と実践力に富む有為の教育者を養成</li> <li>○基本的な目標 今日の学校教育の諸課題に積極的に取り組む教員養成、生涯学習社会で指導的役割を担う人材養成、教育実践を先導する研究活動の推進等、教員養成・研究等の情報収集・発信体制構築、社会貢献・国際交流活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育内容の改善、教員就職者を増やすための方策を検討し、実施、教員就職率の向上(進学者除き60%以上)</li> <li>○教育実践研究推進機構の特別開発研究プロジェクト等の評価・改善</li> <li>○東アジア教員養成国際コンソーシアム等の拠点校として国際連携協力事業を推進</li> <li>○教員養成大学独自の地域連携・産学連携プロジェクト・公開講座</li> <li>○附属学校 国の拠点校、地域のモデル校、大学と附属学校の実践的な共同研究推進</li> </ul>
26	東京農工大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使命志向型教育研究—美しい地球持続のための全学的努力</li> <li>○「人を育み、技術を拓き、世界に貢献する科学技術系大学」、研究大学としての地位確立、人類の豊かで知的な生活や福祉に総合的に貢献する大学</li> <li>○国際社会で指導的な役割を担える高度な能力を持つ人材育成、科学技術系研究拠点、社会的課題の解決や産業技術基盤の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎と専門をつなぐ自然科学系共通科目導入(学士課程)、科学技術系大学にふさわしい教養教育・自然科学系基礎教育の充実のための体制整備</li> <li>○早稲田大学との共同大学院として農・工・理学の融合分野における教育を実施予定、共同獣医学科の設置構想の検討</li> <li>◎安全な食料の確保と健康増進を図る分野等の研究を重点的に推進</li> <li>○幅広い世代を対象にした公開講座、子どもたちの理科への関心を高める教材・資料等開発、海外リエゾンオフィスを活用した共同セミナー等</li> </ul>
27	東京芸術大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○我国唯一の国立総合芸術大学</li> <li>○使命 自由と創造の精神を尊重し、我が国の芸術文化の発展について指導的役割を果たす</li> <li>○世界最高水準の芸術教育、高い専門性と豊かな人間性を有した芸術家、教育者・研究者養成、伝統文化の承継と新しい芸術表現の創造、芸術のもつ重要性への理解を示す活動、市民が芸術に親しむ機会の創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少人数教育・個人指導、展覧会・演奏会等多様な発表の場を確保</li> <li>◎戦略的な芸術大学ネットワークを構築、アジアにおける芸術研究の拠点大学、海外から優れた教員・研究者を招聘</li> <li>○自治体・企業と連携し芸術に関する各種プロジェクト・展覧会・演奏会を実施</li> </ul>
28	東京工業大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長期目標 伝統と独自性を重視、世界最高の理工系総合大学の実現</li> <li>○基本方針 「時代を創る知・技・志・和の理工人」の育成、世界的教育研究拠点としての地位を確固たるものとする</li> <li>○社会のリーダーとして活躍できる理工系人材育成、世界的教育研究拠点形成、知的資源の体系的発信、地域・産業界等国内外との多様な連携により社会と世界の発展に貢献、教育研究の高度化・国際化、組織の編成等を機動的・戦略的に展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学士課程の英語カリキュラム充実、学生が海外で活動する機会増加</li> <li>○長期的観点での基礎的・基盤的・萌芽的領域における研究を強化</li> <li>○世界の理工系トップ大学等との連携を強化し研究者・学生の交流を促進、海外オフィス・大学連携の活用等、初等中等教育に対する理科教育、社会ニーズに即した産官学連携推進、</li> </ul>
29	東京海洋大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京商船大学と東京水産大学の統合により発足した国内唯一の海洋系大学</li> <li>○理念 人類社会の持続的発展に資するため、海洋を巡る学問及び科学技術にかかわる基礎的・応用的教育研究を行う</li> <li>○使命 「海を知る、海を守る、海を利用する」教育研究の中心拠点、海洋立国として我が国が発展するための一端を担う</li> <li>○海洋に関する国際的に卓越した教育研究拠点、研究者を含む高度専門職業人養成、海洋に関する総合的な教育研究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○船舶運航技術者を養成する教育システムの強化・維持、知識技術を実務に活かせるよう進路支援体制を改善</li> <li>○社会のニーズに対応した研究施策、水産学と工学との連携研究、船舶等を開かれた研究拠点として活用、アジア・北米を中心に国際共同・産学連携研究体制構築</li> <li>○海外教育機関へ学生の参画支援、留学生受け入れ総数の増加推進、社会人・市民への海洋専門的知識の提供</li> </ul>

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
30	お茶の水女子大学	<p>○学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現される場</p> <p>○ミッション 世界屈指の女子大学として、21世紀の社会に必要なとされる高度な教養と専門性を備えた女性リーダーの育成</p> <p>○女性の活躍を促進する教育研究拠点を国際的に展開、大学院課程の充実と国際的研究拠点の形成、新たな学士課程教育の構築、統合的素養を備えた高度専門職業人育成、附属学校と連携した統合的な教育組織の構築、社会的、国際的貢献の促進</p>	<p>○お茶大型リベラルアーツ教育推進、女性の多様な進路・キャリアモデルに沿ったキャリア教育拡充</p> <p>○女性の活躍が期待される研究領域を推進、開拓、理系の女性研究者育成</p> <p>○生涯を見通した教育システム構築、卒業生のキャリアネットワーク構築</p> <p>○開発途上国の女子教育・幼児教育に関する支援事業を強化充実</p> <p>◎附属学校 大学と密接に連携したマネジメント体制</p>
31	電気通信大学	<p>○我が国唯一の高度無線通信技術者養成機関、2018年創立100周年にむけた「UECビジョン2018」策定</p> <p>○使命 「高度コミュニケーション社会」を支える総合的な科学技術を「総合コミュニケーション科学」として創造・発展、人材育成により国際社会に貢献</p> <p>○「総合コミュニケーション科学」の教育研究世界的拠点、世界中から若手研究者が集う環境整備、教育研究の質を高め社会に貢献、経営の開放性と透明性を高め、社会に信頼される大学</p>	<p>○「ロボメカ工房」による体験教育等による実践力育成、「スーパー連携大学院構想」実現に向けた他大学や産業界との連携強化、上級生による助言制度(学生メンター制度)導入</p> <p>○学内の研究組織を4つのカテゴリに訳、それぞれの研究活動を促進</p> <p>○公開講座・科学技術教育を通して地域社会に対する教育機会の提供、共同研究等による地域振興や人材育成に資する活動</p>
32	一橋大学	<p>○基本的な目標 21世紀に求められる先端的な社会科学の教育研究を積極的に推進し、その世界的拠点として日本、アジア及び世界共通の重要課題を理論的、実践的に解決</p> <p>○使命 ①新しい社会科学の探求と創造、②全学的共通教育と専門教育の有機的関連及び他大学との連携、③構想力ある専門人、理性ある革新者、指導力ある政治経済人の育成、④国内・国際社会への知的・実践的貢献</p>	<p>○企業や同窓会組織との連携により「如水ゼミ」等実践的教育科目の充実、慶應義塾大学と「EU高度教育研究共同大学院」の設置を計画</p> <p>○世界最先端の研究情報共有と重点領域設定のため「一橋大学研究機構(仮称)」を設立、機動的、創造的な研究を行う</p> <p>◎政府、メディア等に対し、専門知識による助言活動</p> <p>○「一橋大学公開講座」「開放講座」「関西アカデミア」等の評価・総括・充実、世界の主要大学との連携強化</p>
33	横浜国立大学	<p>○理念 人々の福祉と社会の持続的発展に貢献</p> <p>○大学全体の目標 「創造性ある高度専門職業人養成」、「実践的学術の国際拠点」</p> <p>○機能・役割 「創造性ある高度専門職業人養成」、「実践的学術の国際拠点」、大学の個性を伸ばし、高度の研究をベースにした教育を行うこと、社会貢献</p>	<p>○YNUイニシアティブを公表し、教育課程編成等に反映</p> <p>○効果的な重点研究を定め、プロジェクト研究などの形で組織的に成果を創出、独創的研究を評価・顕彰</p> <p>○帰国留学生へのフォローアップ教育事業、海外同窓会ネットワーク、海外リエゾンオフィス開設</p> <p>○神奈川県内周辺地域と相互支援関係構築しニーズを把握、卒業生との連携を強化、社会貢献活動を顕彰</p> <p>○附属学校 教員養成課程のカリキュラム改革と連動し、教育実習機能等強化</p>
34	新潟大学	<p>○高志の大地に育まれた敬虔質実の伝統と世界に開かれた海港都市の進取の精神</p> <p>○全学の理念 自律と創生、全学の目的 教育と研究を通じて、地域や世界の着実な発展に貢献</p> <p>○大規模総合大学、世界トップレベルの卓越した特色のある研究と教育の拠点、高度の専門的職業人を養成、産学官連携事業や理科離れ対応の地域活動で教育研究成果を地域に還元、地域住民の安心・安全の最後の砦の医歯学総合病院</p>	<p>○新潟大学型教養の確立、授業科目マップ構築、全学の人的資源を活用した教員免許取得・更新のカリキュラム</p> <p>○開かれた研究環境(イノベーション・オープン・モード)、研究戦略企画室創設等体制整備、ヒト脳科学研究、「朱鷺プロジェクト」</p> <p>○「社会連携推進機構」、地域・自治体・東アジアを中心とした国際的ネットワーク構築、「新潟大学学術リポジトリ」をインターネットで発信、出前授業、科学教室等専攻プログラムの充実</p> <p>◎附属病院 地域に根ざした医療人を育成、地域の医療水準の向上／附属学校 大学・学部との一体的な組織運営、地域の拠点校形成</p>
35	長岡技術科学大学	<p>○基本理念 現実の技術対象を科学的視点で捉え直し、それによって更なる技術体系を発展させる“技学”の創出とそれを担える人材の育成、VOS(Vitality, Originality, Services)</p> <p>○重点的に取り組む事項 ①創造性豊かで、実践的、指導的能力を有する人材養成のため教育体制整備、②「大学力」を結集した重点プロジェクトによる教育・研究の効果的実施、成果発信、③産学官及び国際社会との連携・協働を目指した教育・研究推進、実施体制の整備・充実</p>	<p>○エンジニアリングデザイン教育等を重視した実験・演習や実務訓練の充実、「実践的技術教育マイヤー制度」(FD)</p> <p>○先進的研究(材料、情報、エネルギー・環境、バイオ)・融合領域的研究の推進し、世界的研究拠点形成</p> <p>○アウトリーチ活動、防災計画等自治体政策への貢献、高等専門学校との連携、国際連携の体制整備、ツィニング・プログラムの充実</p>



	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
36	上越教育大学	○新構想の教育大学としての創設の趣旨を踏まえ、大学院を中心とした学校教育における高度専門職業人養成を基軸 ○第2期中期目標期間の主要目標(抜粋) (1)確実に教職への道を達成できる広域全国型大学として教育指導の更なる充実と修学条件の整備等、(2)時代的・政策的課題である大学院(修士課程及び専門職学位課程)レベルでの教員養成等、(3)学校教育や地域文化等に関する全国及び地域的重要課題への積極的取組 等7つ	○上越教育大学スタンダードを踏まえカリキュラムの改善(学士課程)、実習施設(連携協力校等)の拡充と効果的な運用(専門職学位課程) ○連合大学院(博士課程)を構成する大学として、臨床的研究と教科専門領域の研究を推進 ○地域社会の目指すものと大学の人的資源を結びつけ、地域社会づくりを支援、公開講座・出前講座 ◎附属学校 大学との緊密な連携・協力の下、教育に関する実践的な臨床研究を進める
37	富山大学	○富山県内の3つの国立大学の再編・統合により誕生、 ○理念 地域と世界に向かって開かれた大学、特色ある国際水準の教育研究、人間尊重の精神を基本に高い使命感と創造力のある人材育成、地域と国際社会に貢献、科学、芸術文化、人間社会と自然環境との調和的発展に寄与 ○目標 幅広い職業人、国際的に通用する高度な専門職業人の養成、知の東西融合、地域と世界の発展に寄与する先端的研究、ユーラシア大陸東縁部諸国等の教育研究機関と連携、国際的教育・研究拠点、地域社会への貢献	○地域の特徴を生かした教養教育(学士課程)、現代社会のニーズに応える教育機会の充実(大学院課程) ○東西医学学融合に関わる国際水準の研究、その他特色ある先端的研究等推進 ○産学官連携促進、高校と連携した公開授業や小中学生講座、伝統医学の正しい理解と普及を促進 ○秋季入学や海外拠点の活用等による留学生受入れ促進、留学生対象のインターンシップ、学生寮で留学生との混住型を採用 ◎附属病院 先進的高度専門医療を充実 等/附属学校 大学・学部との連携 等
38	金沢大学	○「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」、人文社会科学、自然科学及び医学を包含する総合大学 ○我が国の基幹大学として、世界的研究・教育拠点の形成、国際通用性のある教育、高度専門職業人・総合的教養を有した幅広い職業人を養成 ○地域の活性化、先進医療の発展と普及、地域の生涯学習の機会提供、社会貢献促進	○専門性と学際性を育む複線型教育、環境教育プログラムの構築、新キャリア教育の強化 ○各研究域に時限つき研究センターの設置、特色ある地域研究拠点(能登半島)、研究アドバイザーボード ○産学官連携活動の強化、「大学コンソーシアム石川」、地域住民の健康増進のため健康増進科学センターの活用 ○外国人留学生の受入増加、授業形態の多様化等、海外分室(リエゾン・オフィス)を整備・拡充、海外の大学等との共同した教育・研究を推進 ○附属病院 地域医療に関する医学教育の充実等/附属学校 実証的教育研究、教育モデル校
39	福井大学	○使命「学術と文化の拠点として、高い倫理観のもと、人々が健やかに暮らせるための科学と技術に関する世界的水準での教育・研究を推進し、地域、国及び国際社会に貢献し得る人材の育成と、独創的かつ地域の特色に鑑みた教育科学研究、先端科学技術研究及び医学研究を行い、専門医療を実践すること」 ○基本的な目標 高度専門職業人育成、創造的な研究、地域性等に立脚した研究拠点育成、特色ある研究の世界的成果を発信、優れた教育、研究、医療を通して地域発展をリード、社会から頼りにされる元気な大学	○特徴的な教育課程等の導入・充実、教職大学院、画像医学、原子力工学などの教育推進 ○重点研究(分子イメージングなど先端的ライフサイエンス研究他)、科学技術発展に寄与する学術研究、地域社会へ貢献する実践研究 ○産学官連研究拠点の形成、公開講座や市民開放プログラム、市民・職業人の学習支援 ○附属病院 卓越した教育・研究能力を有する医療人の養成プログラム、社会的要請の強い分野の診療体制整備 /附属学校 計12年を見通した教育理念・方針を策定、これに基づく実践と研究推進
40	山梨大学	○「地域の中核、世界の人材」 ○第二期中期目標期間の重点目標 「地域の地の拠点」として地域の産業・文化・教育・医療の中核を担うことのできる高度専門職業人の養成を使命とする 使命達成のために、高度な研究を推進、先端領域の世界的研究拠点形成、研究成果を広く社会に提供、国際的に活躍できる人材を養成	◎地域社会の発展に寄与する人材を養成 ○先端領域の若手研究リーダーを養成し世界的研究拠点形成、水管理研究、医学工学融合領域での研究 ○国際・大学知財本部コンソーシアム(UCIP)、理教系教員養成拠点事業 ○附属病院 研究成果を地域医療の発展と高度な医療人養成に活かす/附属学校 附属学校の特色を生かした教育研究
41	信州大学	○「信州大学ビジョン2015」全学の構成員が新たな可能性に挑戦するための将来構想 ○「オンリーワンの魅力あふれる地域拠点大学」の構築を目指し、以下に重点的に取り組む (1)未来の社会を展望した有為な人材教育の実践、(2)地域に根ざし世界に拓く研究拠点の形成、(3)豊かな地域社会の創造に向けての協働と貢献、(4)社会環境の変化に柔軟に対応する大学経営の推進	○基礎研究の基盤充実、特色ある研究を組織的に推進(環境調和型システム、包括的予防医学等)、カーボン科学研究所、国際ファイバー工学教育拠点 ○国際化推進プラン、「信州産学官連携機構」中心にプロジェクト推進 ◎附属病院 長野県の拠点病院としての特色を生かし、医療人の育成を図る/附属学校 大学及び学部との連携強化、教育研究の質の向上

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
42	岐阜大学	<p>○「学び、究め、貢献する」地域に根ざした国立大学</p> <p>○目標 1)人材養成を最優先事項として位置づけ、質・量ともに充実した教育、高度な専門職業人を幅広い分野で養成 2)優れた教育を実践するための研究基盤の維持、独創的先進的研究の拠点形成、成果の社会還元 3)地域社会において存在感のある大学として地域社会の活性化に貢献 4)大学の国際化を推進</p>	<p>○獣医学教育における鳥取大学との教育課程の共同実施、全学的な英語教育体制を整備・充実</p> <p>○特色ある研究センター等について点検評価し、重点化や再編成、特色ある研究拠点設置</p> <p>○地域産業振興に向けた連携活動強化、大学のシンクタンク機能強化、共同研究等を通じた企業支援</p> <p>○国際戦略本部を充実、国際交流会館を拡充、発展途上国等への支援充実</p> <p>○附属病院 地域医療人に開かれた研修を実施、先進・高度医療、難治性疾患等の拠点病院機能を整備／附属病院 教育学部との連携強化</p>
43	静岡大学	<p>○「自由啓発・未来創造」、人材養成を旨とし、質の高い教育と創造的な研究を推進し、社会と連携とともに歩む存在感の大学を目指す</p> <p>○基本的な目標</p> <p>国際感覚と高い専門性を有し、チャレンジ精神にあふれ、豊かな人間性を有する教養人を育成、世界をリードする基礎的・独創的な研究を推進、産業振興に資する研究を推進、地域社会と協働し繁栄に貢献、国際性豊かな大学、法人組織の経営基盤の安定化</p>	<p>○専門分野との有機的連繋に配慮して教養教育を実施、カリキュラムを踏まえた共同責任体制や複数指導教員制度等の整備</p> <p>○世界をリードする独創的な研究(アジア研究、極限画像科学等)、共同利用可能な研究設備のオープン化</p> <p>○教育の国際化推進、卒業・修了した留学生の組織化、大学開放事業の積極的展開、産業界等との連携推進、地域連携協働センター等のマネジメント機能強化</p> <p>○附属学校 評価を下に学校運営の改善、地域の教育のモデル校</p>
44	浜松医科大学	<p>○建学の理念に基づき、以下に重点的に取り組む。</p> <p>1 地域社会に貢献できる医師・看護専門職養成、世界に発信できる研究者の育成 2 メディカルフォトニクス、分子イメージングに関する研究を推進し、医学に関する総合的なイメージング研究の世界的拠点を目指す 3 地域の社会ニーズと個々の病院機能に応じた医療ネットワークの構築、研究マインドを有する専門医の育成、4 特色を生かした産学官連携、研究成果の社会還元</p>	<p>○実践的な能力に優れた医療従事者育成のための臨床実習・臨地実習の充実</p> <p>○メディカルフォトニクスと分子イメージング研究の推進、海外との交流・共同研究を推進</p> <p>○中学生・高校生のための科学教育の支援</p> <p>○附属病院 がん治療実績向上、救急システムの整備と拡充、電子カルテを導入</p>
45	名古屋大学	<p>○使命 自由闊達な学風の下、人間と社会と自然に関する研究と教育を通じて、人々の幸福に貢献</p> <p>○基本目標 創造的な研究活動による真理を探求、世界屈指の知的成果、論理的思考と創造力に富んだ勇気ある知識人育成 等</p> <p>○基本方針 俯瞰的立場からの研究、新しい価値観や知識体系を創出するための研究体制を整備充実、知的資産を正しく承継し発展させる教育体制を整備、学術文化の交際拠点形成、学問研究の自由を保障、開かれた大学 等</p>	<p>○中核的な研究拠点を形成、若手研究者育成のための環境整備、研究所・センター等の機能と活動を充実、質の高い学術成果を社会に発信</p> <p>○さまざまな組織と協力し、教育・文化・安全の向上に貢献</p> <p>○国際コース群の設置等により留学生比率を10%以上に増</p> <p>○教育・文化・福祉・安全の向上に寄与、産学官連携を推進し社会へ貢献、卒業生・修了生のコミュニティを通じ社会との連携を深める</p> <p>○附属病院 医療過程の標準化、地域医療の中核病院</p>
46	愛知教育大学	<p>○目的 教育研究活動を通して世界の平和と人類の福祉及び文化と学術の発展に努める</p> <p>○目標 ① 学士課程教育:優れた教養教育、教員養成課程:専門職業人としての教員の養成、現代学芸課程:幅広い職業人の育成、②大学院課程教育:高度専門職業人、③優れた研究成果を地域社会へ還元、特色ある大学を創造</p> <p>○教育学部の規模及び課程を維持した上で、教育内容の質の向上に努める。</p>	<p>◎教育課程の一層の充実及び体系化、○学生参加型の多様な授業形態、教員養成系共同大学院博士課程設置</p> <p>○教員養成に関わる領域に重点的に取組み各種研究プロジェクトを組織</p> <p>○近隣市町村と新たな包括協定を締結し連携協力を強化、教員研修及び研究指導のための教員派遣</p> <p>○留学生受入れ目標100人、国際学術交流協定締結校数の増</p> <p>○附属学校 大学の実験校・実習校として教育研究を推進、国レベルの拠点校及び地域のモデル校</p>
47	名古屋工業大学	<p>○我が国を代表する工科系単科大学、製造業が集積する中京圏に位置</p> <p>○基本方針 「ひとつづくり、ものづくり、未来づくり」</p> <p>○重点的に取り組む項目 1 「与えられる」教育から「自ら育つ」教育に重点を移し、高度な工学知識と実践能力を有する自立した研究者・技術者を輩出、2 世界トップレベルの分野の研究を推進、工科系の国際的教育研究拠点を形成、3 複線的な教育体系を実現、4 教育研究活動の高度化・多様化 等</p>	<p>○理系基礎科目・リベラルアーツ科目・経営基礎科目等を充実、インターンシップを推進・単位化、基礎的教育科目の短期集中開講(学士課程)、英語による開講科目数を増加、博士課程論文審査への外部審査委員の参画</p> <p>○セラミック分野を軸に国際的人材交流・研究交流を推進し、世界最高水準の研究拠点構築、異分野融合、国際共同研究</p> <p>○外国人留学生の国内外リクルート体制を整備</p> <p>○小中高生を対象とした出張授業等の科学技術教育、愛知工業大学等と「工科系コンソーシアムによるものづくり教育の拠点形成」推進</p>

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
48	豊橋技術科学大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使命 技術科学に関する教育と研究を通して社会に貢献すること</li> <li>○中心となる課題 【教育】現在から未来を見据えた新たな教育組織の整備、大学院教育に重点、基礎科学・教養教育と実践的専門・技術教育を交互に進める「らせん型」教育を学部・大学院一貫で実施 【研究】国際的研究拠点形成、先進的技術科学研究を推進、異分野との連携・融合 【国際展開】世界に開かれた大学への展開を推進 【社会貢献】産業界との連携強化、大学の「知」が地域社会の活性化につながる主体的な取組を推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎将来の持続社会構築に向けた課程の再編、「らせん型技術科学教育」の発展、「卓越した技術科学者養成プログラム」</li> <li>○センシング技術を基盤とする先端的研究の推進、他大学等との連携により医工連携、農商工連携推進、教員の国際的共同研究を支援</li> <li>○工学教育国際協力センター再編等による国際化推進体制強化、海外の大学棟と重点的に教育協力、協同研究、産学連携教育を実施、高専との教育研究連携に基づく学生の入学制度等整備</li> <li>○ブランディング戦略を意識した大学情報の発信等</li> </ul>
49	三重大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な目標 「三重の力を世界へ：地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな教育・研究成果を生み出す～人と自然の調和・共生の中で～」</li> <li>○教育研究の目標 「幅広い教養の基盤に立った高度な専門知識や技術を有し、社会に積極的に貢献できる人財」を育成</li> <li>○新たな具体的目標 「地域のイノベーションを推進できる人財の育成」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」「生きる力」の「4つの力」を向上させるための初年時教育の充実等各種取組、</li> <li>○三重大学COEプロジェクト研究等推進</li> <li>○地域住民が参加できる公開講座等の充実、図書館等を活用した知的情報の提供等</li> <li>○国際交流週間等の国際感覚涵養につながるイベントを推進、英語併記化・多言語化等受け入れ環境の整備</li> <li>○附属病院 総合的な臨床医養成、救命救急センターの設置、へき地医療に携わる人材養成／附属学校 学部との連携、運営の効率化・情報公開</li> </ul>
50	滋賀大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域に根ざした視点とグローバルな視野とをあわせもつ知の拠点</li> <li>○基本的な任務 学士課程・大学院を通じた、幅広い職業人の養成、現代的な課題に対応できる高度な専門職業人の養成</li> <li>○国立大学としての社会的使命を果たすために、大学固有の特色を発揮するオンラインの創成をめざす</li> <li>○教育研究上の重点領域：環境とリスク</li> <li>○近江の伝統文化の持つ実学の精神や実践への意欲を活かし人材養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リメディアル教育、習熟度別クラス編成、就職支援</li> <li>○環境教育等の共同研究、リスク研究の拠点化、滋賀大学出版会の設立等により大学の情報発信機能強化</li> <li>○環境学習支援士など地域と連携した人材育成プログラム、産学公民連携プロジェクト</li> <li>○東アジア・太平洋地域との交流の質を高める、ダブルディグリー・秋期入学</li> <li>○附属学校 さらなる一体的運営推進、今日的な教育課題に答えるための取組充実</li> </ul>
51	滋賀医科大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域に支えられ世界に挑戦する大学</li> <li>○使命 高度専門医療人育成、創造性に富んだ研究者輩出／研究 サルを用いた再生医学研究、アルツハイマー病棟の神経難病研究等の重点研究推進、成果の発信／診療 医療の高度化と安全、心の通う医療サービス、地域医療連携体制整備／地域貢献、産学官連携等</li> <li>○近江の地に根ざす「三方よし」の教えを共有し社会責任を自覚した大学運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中高校生に対して、医学・医療現場に接する機会を積極的に設ける。</li> <li>○解剖体験型等への参加等を通じた倫理教育、患者シミュレーション機能等を保持するスキルズラボを活用、近隣大学との大学間連携構想推進</li> <li>○特色ある研究プロジェクトの重点的推進(サルを用いた疾患モデル確立等、神経難病研究 等5つの研究)、基礎研究者と臨床医が一体となったグループ組織</li> <li>○地域医療支援将来構想の策定、国際共同研究、国際会議、国際シンポジウムの実施</li> <li>○附属病院 一貫した教育制度、高度先進医療技術等開発、患者参加型病院、機能集約型診療体制</li> </ul>
52	京都大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自由の学風を継承・発展させつつ多角的な課題の解決に挑戦し、地球社会の調和ある共存に貢献</li> <li>○基本的な目標 【研究】研究の自由と自主、先験的・独創的な研究活動、次世代をリードする知の創造、総合大学としての研究の多様な発展と統合、【教育】卓越した知の継承と創造的精神の涵養、優れた研究能力や高度の専門知識をもつ人材を育成、【社会との関係】国民に開かれた大学、世界に開かれた大学、【運営】教育研究組織の自治を尊重、調和の取れた全学的組織運営 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学術目的の英語教育と、初修外国語教育を充実、海外の大学との単位互換制度、受け入れ促進のため国際教育プログラム(KUINEP)拡充等</li> <li>○独自の戦略的研究支援体制整備、国内外との先端的共同研究、海外フィールド研究等推進</li> <li>○文化、芸術、産業の発展に資する社会連携、京都大学フォーラム、総合博物館の企画展等の実施、児童生徒が学術に触れる機会拡大</li> <li>○附属病院 チーム医療の推進、過重業務見直し、先端医療開発特区活用による臨床研究実用化</li> </ul>
53	京都教育大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教員養成を主たる役割とする単科大学としての社会的使命</li> <li>○重点的に取り組む事項 6年間を見通した教育、実践的指導力を有する教員の養成、倫理観等を有した人材養成、学術研究の推進、学部・大学院等運営体制の強化、京都府・京都市教育委員会等との連携、大学の特色を生かした社会貢献活動、国際交流活動、他大学との連携協力やその体制の在り方の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学間、大学コンソーシアム京都において、教育課程を相互に補完するため単位互換制度活用、大阪教育大学及び奈良教育大学との連携による教育の充実、セミナーの開催</li> <li>○大学教員・附属学校教員による教育研究交流会議の活動活性化し共同研究推進</li> <li>○京都府・市教委との連携による現職教員研修・研究活動支援、教委との連携によるシンポジウムの開催、高大連携事業の実施</li> <li>○外国人研究者・留学生の受入体制の充実、アジア諸国との教育分野における国際協力</li> <li>○附属学校 京都府・市との人事交流、効果的な学校評価の方法確立</li> </ul>

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
54	京都工芸繊維大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○豊かな感性を涵養する国際的工科系大学、国際的高度専門技術者育成</li> <li>○「知」「美」「技」を探究する教育研究体制、人に優しい光学「ヒューマン・オリエンティッド・テクノロジー」の確立</li> <li>○第2期中期計画における留意点 ①幅広い高度専門技術者の養成、②国際社会、地域社会、産業界への積極的な貢献、③分野融合的な新領域の開拓、④相互間の円滑なコミュニケーションに基づくマネジメントの実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○KIT成績管理システムとスタディアドバイザー制度による総合的學生支援システムの構築</li> <li>○研究分野ごとに研究水準目標を設定し自己点検評価・外部有識者による検証を行う、地域連携教育研究拠点形成、重点領域研究を核として研究センター化</li> <li>○公開講座等、シンポジウムの開催、企業支援プログラムの実施、高大連携教育推進、地域企業支援プログラム事業</li> <li>○国際的高度専門技術者育成、国際交流教育プログラムの実施、途上国からの秀逸な留学生受入れ</li> </ul>
55	大阪大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理念は「地域に生き世界に伸びる」、適塾・懐徳堂の学風を継承、合理的な学知と豊かな教養、世界に冠たる知の創造と継承の場</li> <li>○研究は「基本」「ときめき」「責任」を強く意識、世界最高レベルの研究拠点大学、学生の「教養」「デザイン力」「国際性」を涵養</li> <li>○研究と教育の成果を広く企業や社会に問い、その活用に供して大学の役割を積極的に担う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デザイン力を涵養するため対話型少人数教育、体験型学習等を活用したカリキュラムの工夫</li> <li>○大型の重点プロジェクト研究を組織し、先端的な研究を推進、海外の大学・研究機関との連携・交流ネットワークの充実、共同研究の推進</li> <li>○社会人を対象としたリカレント教育の推進、自治体、NPO等との連携による学術・文化・教育その他の社会貢献活動の推進</li> <li>○附属病院 先進医療開発病院等としての機能増進、効果的な運営体制の構築、医療従事者の育成</li> </ul>
56	大阪教育大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本理念 我が国の先導的な教員養成大学として教育の充実等に貢献、教育界における有為な人材の育成により地域と世界の人々の福祉に寄与する大学</li> <li>○基本目標 教養教育、専門教育及び研究の総合的強化、教員養成教育の強化、附属学校と連携した教育研究、学校安全に取り組む先進的の大学として学校安全に関する研究と実践を追求しその成果を社会に広める、教育委員会や学校等との密接な連携 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○夜間開講の大学院の教育を拡充、京都教育大学及び奈良教育大学との連携によるセミナーの実施</li> <li>○研究協力者として教育委員会等から実務経験等の豊かな人材を積極的に任用</li> <li>○地域社会における様々なニーズに対応した連携事業の拡大、外国語授業、諸外国での語学・文化研修の充実、大学院におけるダブルディグリー制度導入、発展途上国の学校教育に対する支援</li> <li>○附属学校 安全教育・学校リスクマネジメント充実等、食育の推進に関する環境整備、専任の校長等配置</li> </ul>
57	兵庫教育大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本理念 教員の資質能力の向上に対する社会的要請に応える、「教員のための大学」「開かれた大学」「発信する大学」、教員の力量形成を支援し、我が国の教育の一層の発展に寄与</li> <li>○基本的な目標 ①実践的指導力、資質・力量を備えた専門職業人、教育実践学の高度な研究・指導能力、②高度な研究水準の教育実践学を確立、学校教育分野における指導的な研究拠点形成、③国や地域の教育、文化の向上へ貢献等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織的なキャリア教育、卒業後の大学との連携、現場の課題を授業に取り入れるための在学の現職教員が授業補助者として参画、教職以外の就職を希望する学生に対する充実した就職支援</li> <li>○連合大学院における教育実践学研究に係るプロジェクト研究を毎年3件以上推進し成果を検証</li> <li>○兵庫県等との各種協定に基づき教育研究の成果を還元、学生の海外への派遣制度の構築、秋季入学制度導入</li> <li>○附属学校 新教育課程に対応した実地教育充実、学校評価結果に基づく運営改善、安全確保のための危機管理強化</li> </ul>
58	神戸大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○神戸高等商業学校(明治35年設立)、多様な教育研究分野を包括する総合大学</li> <li>○使命 「真摯・自由・協同」の精神、普遍的価値のある「知」の創造、指導的人材育成</li> <li>○「神戸大学ビジョン2015」 国際的に魅力ある教育、次世代の研究者・高度専門的職業人の育成、学術分野の深化・発展、学際的な分野融合領域の開拓、重点分野の先端研究の展開、卓越した分野を自律的に強化できるガバナンス体系</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育成果が社会のニーズに適合しているか点検・評価・改善</li> <li>○世界トップレベルの研究等を重点的に支援、次世代若手研究者の育成、神戸大学の総合性を活かした分野横断研究推進のための体制整備、組織見直し</li> <li>○国際競争力のある教育プログラムの開発、海外の優れた大学等との組織的な連携・協力、産学官民との連携強化、施設・設備の開放、知的資産及び授業の公開等を推進</li> <li>◎附属病院 社会から求められる先端的な医療の開発等、管理運営機能充実／附属学校 初等中等教育の先導的・実験的な取組推進、卓越した社会貢献</li> </ul>
59	奈良教育大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使命 学問・学芸を尊ぶ学風を継承、人間形成に関する専門的力量を備えた有能な教員及び教育者を育てる</li> <li>○基本的目標 教育実践力を備えた初等中等教育教員養成、多様なニーズに対応する専門的職業人育成、高度専門職業人としての教育者等の養成</li> <li>○奈良の自然・地域文化に根ざした「歴史と文化」「環境と自然」等を重視、地元地域への貢献と連携を重視、地域とともに活力を生み出す大学、教育研究上の国際化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都教育大学、大阪教育大学及び奈良教育大学との連携協力を推進し、教養教育等充実</li> <li>○各研究分野で質の高い研究を実施し、教育との不可分性・相関をさらに強化</li> <li>○生涯学習、人材育成、文化、国際交流、理数教育等に関する共同事業や支援事業、現職教員への指導(教員免許状更新講習を含む)等を実施、社会人入学前プレプログラムの実施</li> <li>○教員研修留学生の積極的受入れ、学術交流基金等の整備、欧米の協定大学、東アジアの高等教育機関との連携促進</li> <li>○附属学校 大学等との連携・協力の強化、質の高い教員養成 等</li> </ul>

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
60	奈良女子大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女子の高等教育機関、女性の知的自立と知的展開能力の獲得</li> <li>○基本理念 男女共同参画社会をリードする人材の養成、教養教育、基礎教育の充実と専門教育の高度化、高度な基礎研究と学際研究の追究、開かれた大学</li> <li>○基本的な中期目標 男女共同参画者会実現の先行モデル、多様な女性人材の育成、必要に応じた教育研究組織等の見直し 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性のライフサイクルにも配慮した弾力的な修業年限設定、女性の高度専門職業人・研究者のキャリア形成・開発の支援体制強化</li> <li>○女性研究者に対する要請が高い領域や女性の進出の少ない分野の研究を推進、「なら学」等重点領域策定</li> <li>○歴史的遺産や文化的資源を整備・公開、社会連携センターを中心とした近隣諸機関との共同研究推進、アジア諸国等海外諸大学との教育研究上の交流促進等</li> <li>○附属学校 先導的実践・研究推進、国の教育政策の推進に寄与、大学・附属学校間の連携強化</li> </ul>
61	和歌山大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○和歌山県唯一の国立総合大学、「地域を支え、地域に支えられる大学」</li> <li>○基本目標 「生涯学習力」を培った市民・職業人として社会に参加し、その発展に寄与できる人間の育成</li> <li>黒潮文化圏を活かした研究、地域から日本と世界の発展に寄与</li> <li>「学生満足」の大学生活のための支援、「自主・自立・共生の気風にあふれる大学」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学間の協働による授業の提供を充実、客観的な成績評価基準策定・適用、障害をもった学生支援強化、キャンパス・ディケアの強化、社会人マナー教育の実施</li> <li>○卓越した研究グループ活動支援し研究拠点形成、地域に根ざした研究シーズを発掘し実行ある共同研究を推進、観光学等特色ある研究等を重点的に支援</li> <li>○大学を支援するステークホルダーとの協働を推進、サテライトを含むセンターについて発展的運用を図る</li> <li>○附属学校 大学教員・院生との共同研究拡大、地域における特別支援研究センターとしての機能を発展</li> </ul>
62	鳥取大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知と実践の融合</li> <li>○教育研究の目標 社会の中核となり得る教養豊かな人材の養成、地球的・人類的及び社会的課題解決への先端的研究、地域社会の産業と文化等への寄与</li> <li>○教育重視の方針、「人間力の豊かな人材の養成」、「持続性ある生存環境社会の構築」、研究拠点形成、地域になくてはならない大学、乾燥地研究センターの充実、組織及び業務の不断の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○海外での実践教育等による幅広い人材養成、鳥取県内高校生の志願率等向上のため小・中・高・大連携を推進、岐阜大学との教育課程の共同実施(獣医学教育)を目指す</li> <li>○乾燥地科学、菌類きのこ資源科学等に特化した学際的研究プロジェクトを育成</li> <li>○自治体・学外の関係諸機関等との共同研究推進、地域のニーズに応えたりカレント教育・生涯学習・公開講座等</li> <li>○海外拠点・国際戦略本部等の組織・機能を充実、教職員を対象とした英・中・韓・西語の研修</li> <li>○附属学校 「生涯にわたる教育」の共同研究体制構築し、附属学校等を活用して研究を推進等</li> </ul>
63	島根大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使命 教育・研究・医療及び社会貢献活動を通じて、自然と共生し、豊かで持続可能な社会の発展に努める</li> <li>○山陰地方における知と文化の拠点、「学生が育ち、学生とともに育つ大学づくり」</li> <li>○基本的目標 人材養成、特色ある研究推進、成果を広く社会に発信、地域における国際交流拠点、学生及び教職員の満足度を高める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学生の正課外活動を積極的に評価、重点教育領域を設定し、必要な人材を配置、</li> <li>○文化的、自然的な地域資源に関する研究、地域産業や地域医療を牽引する先駆的技術に関する研究、地域的課題に向けた研究等推進、東アジアをフィールドにした島根大学の特色ある共同研究、学生交流を推進</li> <li>○地域住民の学習ニーズの多様化・高度化に応じた学習機会充実、学習情報提供</li> <li>○交流協定大学重点化、帰国留学静観のネットワークづくり支援</li> <li>○附属病院 国際的視点を持つ医療人育成プログラム「島根モデル」を推進/附属学校 教育学部生を対象とする「四年一貫型教育実習プログラム」を実践</li> </ul>
64	岡山大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理念 「高度な知の創成と的確な知の継承」、基本目的 「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築」、</li> <li>○総合目標 「学都・岡山大学」として中国・四国地域における中核的な学術拠点</li> <li>○国際的に上位な研究機関、社会の多様な領域において主体的に活躍できる有為な人材育成、さまざまな学際領域において先導的な資質や能力を有する特色ある専門職業人養成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学生の学部間移動など含めた柔軟な教育体制を整備、岡山大学オリジナル教科書(学士)、学部から院までを考慮に入れたカリキュラム再編(博士前期)、学問領域を横断的(学際的)に融合した研究プロジェクトへ自由に参加できる体制整備(博士後期)</li> <li>○総合大学院生の利点を生かした基礎研究の対面的な視座からの推進等、国際特許を確保</li> <li>○大学間連携推進(産学官連携戦略展開事業、大学コンソーシアム岡山)</li> <li>○交流協定締結大学のうち重点的拠点大学を厳選、外国人研究者雇用促進</li> <li>○附属病院 海外からの医師等の教育体制整備、国際的医療拠点形成 等/附属学校 社会的要請や環境の変化に対応した組織の見直し等</li> </ul>
65	広島大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自由で平和な一つの大学」、理念5原則 平和を希求する精神、新たなる知の創造、豊かな人間性を培う教育、地域社会・国際社会との共存、絶えざる自己変革</li> <li>○基本方針 「社会に貢献する優れた人材の育成と未来社会に資する科学研究」推進、日本を代表し世界をリードするナショナルセンター、中国・四国地方のリージョナルセンター、教養教育の充実、特徴的な分野の世界的教育研究拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門教育と融合した教養教育(学士課程)、フェニックス入学制度等による幅広い年齢層の受け入れ促進(大学院課程)</li> <li>○特定の研究分野の拠点形成に向けた支援</li> <li>○法務研究科附属リーガル・サービス・センターを通じた無料法律相談</li> <li>○海外の大学との単位互換、ジョイントプログラム等を活用した国際的に通用する体系的なカリキュラムを編成</li> <li>○附属病院 安全で質の高い医療等 /附属学校 大学と連携し初等中等教育カリキュラムを開発等</li> </ul>

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
66	山口大学	○「挑戦と変革の精神」、アジア・太平洋圏において独自の特徴を持つ大学、地域の基幹総合大学 ○基本的な目標 学生と教職員が一体となり、「共育」、「知の重層的な蓄積」「社会と大学との価値連鎖」「複数の強みが連鎖的に生まれる大学」	○獣医学教育の改善・充実のため他大学との連携による教育課程編成 ○低炭素社会実現を目指す研究等において世界水準の研究成果を目指し研究推進、「先進科学・イノベーション研究センター(仮称)」の設置、「時間学」 ○地域の自治体、企業、公私立大学等との人材交流機会を拡大、多様な講座事業等 ○国際協力・国際貢献につながる「『国際協力の里』推進体(仮称)」を構築、企業やJICA等との連携・協力 ○附属病院 新営及び改修、ドクターヘリ導入等/附属学校 地域の公立学校等の実情に応じた附属学校のあり方等の検討
67	徳島大学	○使命 自主と自律の精神に基づき、真理の探究と知の創造に努め、卓越した学術及び文化を継承し、世界に開かれた大学として、豊かで健全な未来社会の実現に貢献 ○理系を中心とする多岐分野が集積した大学 進取の気風を育む教育、地域目線の社会貢献、健康生命科学、社会技術科学を中心とした拠点の形成、研究支援体制の強化、生きる力を育む医療の実践と良質な医療人育成	○英語コースやダブルディグリープログラム、複数教員によるクラスター指導制 ○研究分野を健康生命科学、社会技術科学、地域科学に特化、特色ある産学官連携研究システム構築、国際的に卓越した研究等推進組織設置 ○地域ICT化の推進、地域資源の活用、地域マネジメント研究、地域連携教育、地域防災を自治体、NPO及び企業等と連携して実施 ○附属病院 需要の高い診療部門の充実設置、徳島県立中央病院との連携強化等
68	鳴門教育大学	○理念「教育は国の基である」 ○目標 高度な教職の専門性と教育実践力、豊かな人間愛を備えた高度専門職業人としての教員の養成 ○重点的な取組「教員養成コア・カリキュラム」、教育実践力を備えた教員養成、「予防教育科学」拠点形成、小学校英語教育センターの活用、開発途上国への教育支援 等	○教員養成コア・カリキュラムの充実、学校現場のニーズに応える多様な教育機会の提供 ○予防教育科学等社会のニーズに応じた研究推進のため研究支援体制見直し、改善 ○小学校における外国語活動支援、大学公開事業を積極的に推進 ○教員教育国際協力センターの充実を図り、JICA等と提携協力し、開発途上国での教育支援 ○附属学校 共同教育研究体制の検証、附属学校間の教育研究連携体制確立・先導的研究の推進等
69	香川大学	○世界水準の教育研究活動、創造的で人間性豊かな専門職業人・研究者養成、共生社会の実現に貢献 ○機能別分化「地域に根ざした学生中心の大学」として高度専門職業人の養成、幅広い職業人の養成、地域の大学として高い社会貢献機能を持った大学を目指す、特定の領域の世界的な研究拠点	○学生の学習・進路志向に応じた学士課程教育プログラムを実施 ○地域の課題を解決する知の拠点(瀬戸内圏研究)、卓越した研究拠点形成(情報通信技術等、高機能新材料、バイオ関連研究) ○東・東南アジア等との交流を通じた国際共同研究(省農業プロジェクト、医療支援プロジェクト) ○地域住民の健康向上のため糖尿病関連疾患を克服する活動を展開、瀬戸内圏の食品産業界と連携した食品の安全性の評価分析体制 ○附属病院 優れた医療人育成、地域との連携強化等/附属学校 研究の場としての機能強化等
70	愛媛大学	○「学生中心の大学」、「地域にあって輝く大学」、地域の「知の拠点」 ○第2期重要課題 学生の人的成長に重点をおいた教育、国際性を備えた人材の育成、特色ある先端的研究拠点の形成・強化 ○基本目標 全体的に一体感のある教育改革、学生の主体的・協同的な学びの充実、環境・生命の世界レベルの研究、質の高い多様な研究、地域連携・産官学連携、アジア・アフリカ拠点国への教育研究支援、不断の組織改革等で大学の自律性を高める 等	○SCV(スチューデント・キャンパス・ボランティア)、SHD(スタディ・ヘルプ・デスク)など学生間のピア・サポートを充実 ○3先端研究センター(沿岸環境科学研究センター、地球深部ダイナミクス研究センター、無細胞生命科学工学研究センター)を中心とする学術研究 ○「国際連携推進機構」内の「国際連携企画室」等の機能を充実、ネパール・インドネシア・フィリピン等の拠点国において学術交流、教育支援 ○社会連携コーディネーター制度を創設 ○附属学校 大学と一体となった運営、特別支援教育を重視した教育活動 等
71	高知大学	○環境・人類共生の精神、地域を基盤とした総合大学、普遍的で幅広い教養を持った専門職業人養成、黒潮流域圏の特性を活かした多様な学術研究 ○基本目標 地域が直面する諸課題を自ら探求し、学際的な視点で考えるとともに、「環・人共生」の精神に立ってその解決策を提案できる人材育成、「海」「環境」「生命」の研究推進、地域に欠くことのできない大学として存立基盤を強化	○全ての学部教育において課題探求・問題解決型の授業科目を開発・実施 ◎代表的な研究拠点を複数置き、独創性の高い国際水準の研究成果を発信、南四国や黒潮流域圏を中心とした学術研究 ◎地域再生への関与を強化、シンクタンク機能を充実、○スポーツ・文化等を通じた地域貢献活動、「農学コンソーシアム四国」の連携強化 ○留学生数引き上げ、キャンパス内の多言語化、「高知大学国際交流基金」充実、海外事務所設置 ○附属病院 社会ニーズに応じた病院機能・運営強化 等

	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
72	福岡教育大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「教育」に関する教育研究を総合的に行う九州地区の拠点大学</li> <li>○高度の専門的能力を備えた教育者を養成、多様な研究を展開、生涯学習機会を提供</li> <li>○最大の使命 質の高い教員養成</li> <li>○地域全体を高大なキャンパスと捉え、3箇所の附属小・中学校を効果的に活用、行政等との連携強化、大学の知と教育現場における実践を統合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初年次教育及び教養教育の充実、実習やフィールドワークを重視した教職課程プログラム、キャリア教育推進、社会のニーズや学生の声を教育改善に反映</li> <li>○「福岡教育大学人材バンク」等を活用した社会貢献活動の組織的な展開、他大学と連携し主幹大学とした教員免許状更新講習、教育委員会と連携した公開講座等の企画・実施</li> <li>○実験的・先導的な教育課題に取り組み、研究発表会等を通じて成果を公表 等</li> </ul>
73	九州大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H23 創立100周年、アジア諸国との歴史的地理的近接性を活かした世界的研究・教育拠点</li> <li>○教育 豊かな教養と人間性、世界的視野を持つ指導的人材育成、</li> <li>○研究 卓越した研究者が集い成長していく学術環境、人類が抱える諸課題を総合的に解決する研究推進</li> <li>○キャンパス移転による都市型キャンパス形成、大学の知的成果を広く社会に還元</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界最高水準の基礎研究を推進し卓越した成果を上げる、国家的・社会的政策課題対応型研究開発を推進、幅広い分野において世界を先導する学際的・学融合的な研究を推進</li> <li>○英語による教育課程や海外の学生に魅力あるプログラムの整備・充実、外国人教員受入数増加、外国の大学に対する学生派遣数増加、外国人留学生受入数倍増、国際的な産学官連携プロジェクト推進</li> <li>○附属病院 高度先進医療の提供、安心安全な医療体制の強化等</li> </ul>
74	九州工業大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な目標 「技術に堪能なる士君子」の養成に基づき、志の高い高度技術者の養成</li> <li>○「知と文化情報発信拠点」、「知の源泉」、教育と研究を通して次世代産業の創出・育成に貢献する個性豊かな工学系大学</li> <li>○基本的な目標の実現に向けて 【1. 教育】 研究と社会貢献を礎として、グローバル・エンジニアを養成、【2. 研究】 世界トップレベルの分野を創出、【3. 社会貢献】 研究を通じた産学連携を基軸に活動を展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○技術者としての課題解決能力を涵養する教育を実施、3キャンパスに亘る遠隔講義の実施・推進のための体制及び環境整備</li> <li>○研究分野の特徴に応じた基盤的研究の着実な推進、重点研究プロジェクトの推進、共同研究や受託研究の増加</li> <li>○小・中・高校教員等を対象とした教育の実施、重点交流拠点大学を中心とした大学間国際交流等推進</li> </ul>
75	佐賀大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○使命 総合大学として地域における高等教育の機会を保障、「佐賀の大学」「教育先導大学」「佐賀大学中長期ビジョン」</li> <li>○基本的な目標 人的資源を活かした大学の総合力を最大限に発揮できる大学づくり、佐賀大学独自の教養教育システム、地域社会の要請等に貢献する特色ある研究、国際社会の発展を支える知的拠点の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体系的な教育を提供する新たな教養教育システムを構築、「全学教育機構(仮称)」を創設</li> <li>○将来性のある基礎的・基盤的研究への支援、「地域医療科学」「佐賀学」等地域・社会のニーズに応える重点領域研究を支援</li> <li>○集積した知的リソースをシーズマップとして後援</li> <li>○アジアを中心とした学術交流推進、留学生受入環境整備、学生交流や教員の相互学術交流を行う整備として国際交流センターを設置</li> <li>◎附属病院 地域包括医療の拠点 等／附属学校 大学・学部の教育活動の実践の場として活用 等</li> </ul>
76	長崎大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学の理念 伝統文化承継、科学を創造、社会の調和的発展へ寄与</li> <li>○基本的目標 “地域社会とともに歩みつつ、世界にとって不可欠な「知の情報発信拠点」であり続ける”こと</li> <li>○熱帯医学・感染症、放射線医療科学を中心とした「地球と人間の健康と安全」に資する世界的教育研究拠点、研究型の総合大学としてインパクトある研究成果・研究者育成、海外教育研究拠点の共同研究推進、途上国の持続的発展へ貢献等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「地球と人間の健康と安全」に資する重点研究課題を設定し、世界トップレベルの研究水準を目指す(放射線健康リスク制御国際戦略拠点「熱帯病・新興感染症の地球規模統合制御戦略」)</li> <li>○国際貢献等を目指す人材育成のための大学院教育研究組織等充実、海外教育研究拠点の強化による先導的研究の推進と新たな教育研究活動拠点の形成、国際教育リエゾンセンター(仮称)を設立し留学生受入環境整備</li> <li>○附属病院 高度先端医療の供給拠点、長崎大学病院国際医療センター組織等 / 附属学校 質の高い実証的教育・研究を推進</li> </ul>
77	熊本大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国を代表する研究拠点大学</li> <li>○「人の命、人と自然、人と社会」に関する活発な研究活動、先導的研究者・高度専門職業人養成、幅広い教養を持ち高度な課題解決能力を有する人材育成</li> <li>○九州を代表する国際化推進拠点大学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○明確な人材養成目的に沿って、体系的な教育課程を備えた国際的通用性の高い教育プログラムを整備</li> <li>◎質の高い研究を展開し、その中で国際的な研究能力を有する人材を育成</li> <li>○「高等教育コンソーシアム熊本」の活動活性化、公開講座や授業開放等の推進</li> <li>○英語授業の実施、留学生向け日本語授業の充実、外国人教員等の受入拡大、秋季入学の実施拡大、国際共同研究や国際協力事業等の展開、海外オフィスの増設</li> <li>○附属病院 がん診療連携拠点病院等の拠点化 等／附属学校 独自の教育実践研究を推進、研究成果を地域の学校等に還元等</li> </ul>



	国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
78	大分大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○有為な人材の育成、特色ある大学づくり、総合大学としての機能の高度化や地域における「知の拠点」としての役割</li> <li>○知識基盤社会で活躍できる自立した人材の育成、教育研究組織の再構築</li> <li>○高度の専門職業人養成、幅広い職業人養成、社会への貢献、実績を有する分野についての世界的教育研究拠点</li> <li>○地域の活性化に貢献する「リージョナルセンター」</li> <li>○質の高い管理運営組織整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○養成すべき人材増を踏まえ専門教育充実(学士課程)、国内外の学会参加等の多様な指導方法導入(大学院)</li> <li>○全学研究推進機構を軸に人間環境科学等の分野における独創的・先端的研究を推進</li> <li>○地域や社会に向けた学術情報の発信、大学開放事業の推進、地域社会との交流促進</li> <li>○優秀な留学生の戦略的な受け入れ推進、国際的貢献活動に積極的に参加</li> <li>◎附属病院 地域の中核病院としての機能充実等／附属学校 組織・業務運営の改善を図り、大学・学部と連携強化</li> </ul>
79	宮崎大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人間性・社会性・国際性を備えた専門職業人を養成</li> <li>○国際的に通用する研究活動の成果を大学の教育に反映、社会の発展に役立てる。</li> <li>○学際的な生命科学を創造、地球環境の保全のための科学を志向</li> <li>○地域社会から信頼される高等教育機関としての社会貢献</li> <li>○地域社会から信頼される大学病院としての医療実践</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○H25年度までに人材養成の目的を明確にし公開、海外大学との相互交流プログラム実施</li> <li>○若手・女性研究者の研究・萌芽的研究・特色ある研究を推進、共同研究等支援による産学官連携推進、知的財産の創出・管理・活用、海外の大学等との研究者交流の充実</li> <li>○住民の生涯学習ニーズの多様化・高度化への対応、地域の青少年教育の充実に貢献、JICA等との連携強化</li> <li>◎附属病院 教育研究診療の質の向上に努め、地域医療の向上に積極的に貢献／附属学校 研究を推進し、優れた教育実践の普及に努める</li> </ul>
80	鹿児島大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら困難な課題に果敢に挑戦する「進取の精神」を有する人材を育成し、地域とともに社会の発展に貢献する知の拠点として、『進取の気風にあふれる総合大学』をめざす。</li> <li>○基本目標 「進取の精神」を有する学士の育成、島嶼・環境、食と健康等の全人類課題の解決に果敢に挑戦、知的・文化的な生涯学習の拠点、アジア・太平洋諸地域との学術交流・教育交流、社会に開かれた大学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「進取の精神」を踏まえた「学生憲章」策定(学士課程)、島嶼・環境等の全学横断的な教育コース創設(大学院)</li> <li>○島嶼、環境、食と健康の研究領域を重点的に推進、国際水準の卓越した研究を推進するための拠点形成教育研究プロジェクト</li> <li>○「北米教育研究センター」等海外拠点の機能強化、アジア・太平洋諸地域の国際学術交流拠点の機能強化、国際共同研究の積極的な推進</li> <li>○附属病院 安全で安心な質の高い医療の提供等／附属学校 組織運営の改善、教育学部との連携 等</li> </ul>
81	鹿屋体育大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国でただ一つの国立の体育大学</li> <li>○目的 創造性とバイタリティに富む有為の人材を輩出、スポーツ科学・体育学領域における学術文化の発展、国民の健康増進、健全で明るく活力に満ちた社会の形成に寄与</li> <li>○目標 教育:高度な専門職業人、国際的・高度な専門指導者の養成、研究:スポーツ・身体運動による健康づくり及び競技力の向上に関する分野の研究推進、体育学の特性を活かした研究推進、社会貢献:生涯学習機会の提供、教育研究資源の開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○サテライトキャンパスにおける大学院教育の充実</li> <li>○科学的トレーニング法、高度な指導システム開発に関する研究、総合型地域スポーツクラブ等の育成プログラム開発等</li> <li>○大学開放事業、武道や海洋スポーツ等の振興、自治体や企業等との共同研究等推進</li> <li>○外国人研究者及び留学生の受入推進、国際シンポジウム等の開催、国際交流に係る支援体制の点検及び充実</li> </ul>
82	琉球大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目標 地域特性に基づく教育研究を行い広く地域・国際社会に対して知の貢献をしていく</li> <li>○アジア・太平洋地域の中核的な教育研究拠点を目指す。 ①中核的な学術研究拠点を形成 ②幅広い職業人、高度専門職業人、研究者養成 ③建学以来の伝統を承継・発展、生涯学習機会の拠点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○球大グローバルシティズン・カリキュラム構築と全学的な教育実施組織整備</li> <li>○亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構の組織拡充・特化型研究推進</li> <li>○県や市等と連携、多様な学習ニーズに応じた生涯学習機会等提供、産学官連携体制の機能強化</li> <li>○留学生向けの教育プログラム整備、交換留学促進</li> <li>○附属病院 完結型拠点病院機能強化 等／附属学校 実践的研究を通して公立学校の教育の充実に寄与</li> </ul>
83	政策研究大学院大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本ならびに世界における民主的な社会統治(Democratic Governance)の普及、充実に貢献 <ul style="list-style-type: none"> <li>-世界的にも卓越した研究・教育実現のため、国際的スタンダードに適合した研究・教育システムの革新、環境・条件の確保</li> <li>-政策研究の学問的確立を先導、政策提言を行うための基盤整備</li> <li>-政治家、行政官、産業人、研究者からなる開かれた政策構想の場(ポリシー・コミュニティ)形成</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○派遣期間・学生の意向に応じた弾力的な在学期間の運用、関係省庁・大学等・国際機関等との連携を充実させ多様な教育プログラムを実施</li> <li>○政策ニーズを先取りした調査研究・現実課題に立脚した政策研究を遂行する卓越した研究拠点創出</li> <li>○社会情勢を踏まえたタイムリーな公開講座実施、政治家を対象とする政策立案・立法能力の育成を目指す研究を実施</li> <li>○外国の政策研究に関連する優れた機関等と連携した国際的な共同研究、国際的な開発政策に関する研究拠点を形成</li> </ul>



国立大学法人名	基本的な目標、個性、特色 (中期目標前文から)	主な取組 (中期目標(◎)及び中期計画(○)本文から)
84 総合研究 大学院大学	<p>○人文・理工にわたる多数の基礎学術分野につき、各施設の研究環境を最大限に生かした博士課程教育を総合的に統括実施し、学融合による新学問分野の創出・発展を図りつつ、国際的に通用する高度の研究的資質とともに広い視野を備えた人材の育成を目指す。</p> <p>○大学院教育制度は、国立大学法人法及び法人間協定に基づき、機構等法人間との緊密な関係及び協力の下に行われる。</p>	<p>○修了生の追跡調査を実施し、学術交流ネットワークを充実</p> <p>○全学共同教育研究事業への教員・学生の参加推進</p> <p>○総研大合同フォーラム定期開催、教育研究成果に関する一般・小中高生向け公開講演会等を実施、男女共同参画事業の企画と実施</p> <p>○全学共同教育研究活動として国際的通用性養成プログラムを実施、留学生受け入れ体制を強化、JSPSサマープログラムの受け入れ実施及び、その参加者と学生との国際交流促進</p>
85 北陸先端科学技 術大学院大学	<p>○先端科学技術を追求する大学院大学として、「世界的に最高水準の研究・教育拠点」を目指す。</p> <p>○「知識・情報・マテリアル」の3分野を基盤、世界レベルの基礎研究と応用研究</p> <p>○国立大学として最初に設置された大学院大学。あらゆる先進的取組を積極的に実施し、他大学の範たる「パイロットスクール」としての位置づけ・存在意義を維持・発展する。</p>	<p>○デュアル大学院制度の活用、奨学金制度等の充実による国内外からの優秀な入学者の増加、東京サテライトキャンパス等を拠点とした社会人向けの多様な教育プログラムの提供、「24時間365日キャンパス」</p> <p>○学内資源の傾斜配分を行うシステムの構築、「エクセレント・コア」形成を推進</p> <p>○国や地方公共団体等の審議会等への積極的な参画、近隣の高等教育機関との連携</p> <p>○海外トップクラスの大学等との学術交流協定締結の推進、全国トップレベルの外国人留学生比率を達成(30%程度まで)、博士前期・後期課程を通じた英語のみによる課程修了を実現、帰国留学生同窓会を組織</p>
86 奈良先端科学技 術大学院大学	<p>○使命 世界に認知された教育研究拠点として、最先端の科学技術研究の推進、成果に基づく高度な教育による人材養成により科学技術と社会に貢献</p> <p>○基本的目標 学問領域「情報科学」「バイオサイエンス」「物質創成科学」の深化・拡大、世界をリードする研究活動、時代の社会を創出する研究成果、世界から積極的に学生を受け入れ国際社会で活躍する人材を養成、イノベーションの創出、戦略的な大学経営・運営</p>	<p>○「情報科学」「バイオサイエンス」「物質創生科学」各分野における世界トップクラスの研究活動展開、先端科学技術研究調査センターを中心に研究戦略を策定、学長直轄の教員ポストを設けるなど大胆な教員・研究者の配置を行う、テニュアトラック制等の導入、先端融合分野の研究を推進</p> <p>○国際連携推進本部(仮称)を設置、NAISTネット(終身メールアドレスシステム)も活用した留学生を含む修了生と大学とのネットワーク拡充、海外諸国の主要な教育研究機関と交流協定を締結、学内文章の英語化や教職員の英語能力向上のための取組</p>



## 具体的な記述を検討する際に参考にしうる記載例（中期計画）

- 各法人において、中期計画の具体的な記述を作成する際に参考にしうる記載例（各法人の素案からそのまま抜粋）は、以下のとおり。

**1. 具体的な取組内容の記載がある例**

修了生及び就職先に対する定期的な調査を実施し、その結果を教育の改善・充実に活かすとともに、改善状況について定期的に検証を行う。

学生の意見・要望を学生支援策の策定に反映させるため、学生生活に関するアンケートを実施し、学生支援の成果を確認・検証するとともに、システムを整備する。

**2. 達成状況、達成時期、判断基準等が明確な例**

附属病院のインフラストラクチャーを整備して、第一期中期目標期間に対して、病院収入を5%増加させる。

科学研究費補助金の申請件数を、平成27年度までに、平成21年度と比較して2割増加させる。

知的財産の取得と有効活用を推進し、第二期中期目標期間における知的財産収入を第一期の2倍以上とする。

**3. 達成度の評価が困難になりがちな文言でも、事後的に検証可能な例**

## ・努める

契約方法の見直し、情報化の推進、省エネ等に対する啓発活動の実施などにより、効率的な運営に努め、管理的経費を平成21年度に対して5%削減する。

## ・図る

英語による会議資料の作成・配布、同時通訳の導入、英語による通知文の使用、学内関係規程等の英訳など英語によるコミュニケーションの拡充が図られるようにする。

## ・積極的

大学教員について、教職経験者の採用を積極的に進め、3割以上が教職経験者であることを維持する。

**4. その他 水準やイメージ、概念の内容が明確な事例**

## ・数値目標によらない水準設定

国家資格取得を教育目標とする医歯薬学系の学部は全国平均を上回る国家試験合格率を維持するほか、各種資格取得に向けた教育プログラムの設置を進める。

## ・施設整備の基準の明確化

建物の新営や大規模改修時に整備面積の20%以上を基準として共同利用スペースとして整備する。

## ・養成する人材像の明確化

博士前期課程では、国内外の教育研究機関・企業等において先端科学技術に関する研究あるいはその活用・普及に従事する人材を養成する。

## ・例示による取組内容の明確化

「先端領域若手研究リーダー育成拠点」を形成して、任期付きの特任教授10名を確保し、十分な研究費、研究スペースの提供を行うなどの手厚い支援によって、本学に最先端領域研究拠点を創出・発展させることのできる人材を育成する。

## 事後的に検証できるとは言い難い記述（中期計画）

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
2	北海道教育大学	「北海道教育大学教育支援基金」の安定的運用を実現するため、効果的な募金活動を行う。	「北海道教育大学教育支援基金」の安定的運用を実現する (→「安定的運用を実現する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「安定的運用を実現する」について、実現しようとしている達成状況（具体的な状態、達成時期、数値目標等）の明確化	効果的な募金活動を行う (→具体的な取組内容が不明確、「効果的」の基準が不明確)	「効果的な募金活動」のための具体的な取組内容等の明確化 「効果的」について判断する基準の明確化
4	小樽商科大学	学生の国際交流の質を高める。	学生の国際交流の質を高める (→「質を高める」の達成状況を判断する基準が不明確)	「質を高める」について、実現しようとしている達成状況（具体的な状態、達成時期、数値目標等）の明確化	— (記載なし)	「国際交流の質を高める」ための具体的な取組内容等の明確化
4	小樽商科大学	大学院教育との接続をめざす。	大学院教育との接続をめざす。 (→「大学院教育との接続をめざす」の達成状況を判断する基準が不明確)	「大学院教育との接続をめざす」について、実現しようとしている達成状況（具体的な状態、達成時期、数値目標等）の明確化	— (記載なし)	「大学院教育との接続」を図るための具体的な取組内容等の明確化
4	小樽商科大学	高大連携を充実させる。	高大連携を充実させる。 (→「高大連携を充実させる」の達成状況を判断する基準が不明確)	「高大連携を充実させる」ことについて、実現しようとしている達成状況（具体的な状態、達成時期、数値目標等）の明確化	— (記載なし)	「高大連携を充実」のための具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
5	帯広畜産大学	女性教員の採用を積極的に行う。	— (記載なし)	「採用を積極的に行う」ことにより、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	女性教員の採用を積極的に行う (→「積極的」の基準が不明確)	「積極的に行う」の具体的な取組内容等の明確化
6	旭川医科大学	大学病院に期待される医療サービスの充実を図る。	大学病院に期待される医療サービスの充実を図る (→「大学病院に期待される医療サービスの充実を図る」の達成状況を判断する基準が不明確)	「大学病院に期待されている医療サービスの充実を図る」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「大学病院に期待される医療サービスの充実」のための具体的な取組内容の明確化
6	旭川医科大学	業務運営の改善及び効率化を図る。	業務運営の改善及び効率化を図る (→「業務運営の改善及び効率化を図る」の達成状況を判断する基準が不明確)	「業務運営の改善及び効率化を図る」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化。	— (記載なし)	「業務運営の改善及び効率化」のための具体的な取組内容の明確化
8	弘前大学	地域の求める特色ある人材を育成する。	地域の求める特色ある人材を育成する (→「人材を育成」の達成状況を判断する基準が不明確)	「人材を育成」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「地域の求める特色ある人材を育成する」ための具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
8	弘前大学	地域医療を担う専門医の養成を推進する。	専門医の養成を推進する (→「養成を推進する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「専門医の養成を推進する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「専門医の養成を推進する」ための具体的な取組内容等の明確化
8	弘前大学	単位制度の実質化を推進する。	— (記載なし)	「単位制度の実質化を推進する」ことについて、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	単位制度の実質化を推進する。 (→「単位制度の実質化を推進する」ための具体的な取組内容が不明確)	「単位制度の実質化を推進する」ための具体的な取組内容等の明確化
8	弘前大学	教員の職能開発を推進する。	教員の職能開発を推進する。 (→「教員の職能開発を推進する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「教員の職能開発を推進する」ことについて、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「教員の職能開発を推進する」ための具体的な取組内容等の明確化
10	東北大学	共同利用・共同研究拠点は、大学の枠を超えて全国に開かれた関連研究分野の中核としての使命を遂行するため、一層の改善を行う。	一層の改善を行う (→「改善」を行う対象の記載がなく、達成状況を判断する基準が不明確)	「改善」の対象の明確化 「一層の改善を行う」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「一層の改善を行う」ための具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
10	東北大学	附置研究所は、学術研究の動向や経済社会の変化に対応しながらその機能を十分に発揮し、高い研究水準を維持する学術研究の中核的研究拠点としての使命を遂行するため、一層の改善を行う。	一層の改善を行う (→「改善」を行う対象の記載がなく、達成状況を判断する基準が不明確)	「改善」の対象の明確化 「一層の改善を行う」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「一層の改善を行う」ための具体的な取組内容等の明確化
10	東北大学	安定した病院財政基盤の構築を図る。	安定した病院財政基盤の構築を図る (→「安定した病院財政基盤の構築を図る」の達成状況を判断する基準が不明確)	「安定した病院財政基盤の構築を図る」について、実現しようとしている達成状況(「安定」の具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「安定した病院財政基盤」を構築するための具体的な取組について
13	山形大学	研究者が意欲的に研究に取り組むことができる環境を整備する	環境を整備する (→「研究者が意欲的に研究に取り組むことができる環境を整備する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「環境を整備する」について、実現しようとしている達成状況(当該環境の具体的な内容、「整備」の程度、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「研究者が意欲的に研究に取り組むことができる環境を整備する」ための具体的な取組内容等の明確化
13	山形大学	若手研究者が自立して研究を行うことができる環境を整備する。	環境を整備する (→「若手研究者が自立して研究を行うことができる環境を整備する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「環境を整備する」について、実現しようとしている達成状況(当該環境の具体的な状態、「整備」の程度、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「若手研究者が自立して研究を行うことができる環境を整備する」ための具体的な取組内容等の明確化



番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
13	山形大学	医療安全を推進し、患者中心の医療を実施する。	患者中心の医療を実施する。 (→「患者中心の医療」の達成状況を判断する基準が不明確)	「患者中心の医療を実施」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	医療安全を推進 (→「医療安全を推進」するための具体的な取組内容が不明確)	「医療安全を推進」するための具体的な取組内容等の明確化
24	東京外国語大学	(適切な教員の配置) 教員組織一元化のメリットを活かし、学部・大学院のカリキュラム・ポリシーに応じた教員の配置を行うとともに、将来優れた教育活動を担い得る教育支援者を積極的に活用する。	— (記載なし)	「教育支援者を積極的に活用する」ことにより、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	将来優れた教育活動を担い得る教育支援者を積極的に活用する (→「活用する」の具体的な内容が不明確、「積極的」の基準が不明確)	「積極的に活用する」ための具体的な取組内容等の明確化
26	東京農工大学	研究成果の社会への還元だけでなく、イノベーションを創出できる人材を育成できるようにする。	人材を育成できるようにする (→「人材を育成できるようにする」の達成状況を判断する基準が不明確)	「人材を育成できるようにする」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「人材を育成できるようにする」ための具体的な取組内容等の明確化
26	東京農工大学	国際的な産学連携活動の推進を図るため、専門知識、経験を及び交渉能力を有する国際知財専門人材を育成する。	国際知財専門人材を育成する (→「人材を育成」の達成状況を判断する基準が不明確)	「人材を育成する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「国際知財専門人材を育成する」ための具体的な取組について

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
26	東京農工大学	若手研究者育成のためのテニュアトラック制度を定着させる。	テニュアトラック制度を定着させる (→「定着させる」の達成状況を判断する基準が不明確)	「定着させる」について、実現しようとしている達成状況(「定着」の具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「定着させる」ための具体的な取組内容等の明確化
27	東京芸術大学	科学研究費補助金、政府や各種の財団研究費等、競争的研究資金を獲得する。	科学研究費補助金等を獲得する (→「獲得する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「科学研究費補助金・・・を獲得する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「科学研究費補助金、政府や各種の財団研究費等、競争的研究資金を獲得する」ための具体的な取組内容等の明確化
27	東京芸術大学	経済的支援を拡充させる。	経済的支援を拡充させる (→「経済的支援を拡充」の達成状況を判断する基準が不明確)	「経済的支援を拡充させる」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標、支援の対象等)の明確化	— (記載なし)	「経済的支援を拡充させる」ための具体的な取組内容等の明確化
27	東京芸術大学	生涯学習やリカレント教育の観点から、社会人受け入れの充実を図る。	社会人受け入れの充実を図る (→「社会人受け入れの充実を図る」の達成状況を判断する基準が不明確)	「社会人受け入れの充実を図る」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「社会人受け入れの充実」のための具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
28	東京工業大学	男女共同参画について、意識の醸成・涵養を図るとともに、環境整備を行う。	男女共同参画について、意識の醸成・涵養を図る (→「意識の醸成・涵養を図る」の達成状況を判断する基準が不明確)	「男女共同参画について意識の醸成・涵養を図る」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「男女共同参画について、意識の醸成・涵養」のための具体的な取組内容等の明確化
30	お茶の水女子大学	高大連携特別選抜の質的向上を推進する。	高大連携特別選抜の質的向上を推進する。 (→「質的向上」の達成状況を判断する基準が不明確)	「高大連携特別選抜の質的向上を推進する」について実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	高大連携特別選抜の質的向上を推進する。 (→「質的向上を推進する」ための具体的な取組内容等が不明確)	「高大連携特別選抜の質的向上を推進する」ための具体的な取組内容等の明確化
34	新潟大学	副専攻プログラムを充実・拡大するとともに、社会における副専攻制度の認知度を高める。	社会における副専攻制度の認知度を高める (「認知度を高める」の達成状況を判断する基準が不明確)	「社会における副専攻制度の認知度を高める」について、実現しようとしている達成状況(「認知度が高まった」とされる具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「認知度を高める」ための具体的な取組内容等の明確化
35	長岡技術科学大学	環境に配慮したキャンパスづくりを全学的に推進する。	環境に配慮したキャンパスづくりを全学的に推進する。 (→「環境に配慮したキャンパス」の達成状況を判断する基準が不明確)	「環境に配慮したキャンパスづくりを全学的に推進する」について実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「環境に配慮したキャンパスづくりを全学的に推進する」ための具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
40	山梨大学	科学研究費補助金の申請率と採択率を高い水準に保つための方策を講ずる。	科学研究費補助金の申請率と採択率を高い水準に保つ (→「高い水準に保つ」の達成状況を判断する基準が不明確)	「高い水準に保つ」について、実現しようとしている達成状況 (「高い水準」の具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	方策を講ずる (→具体的な取組内容が不明確)	「高い水準に保つための方策を講ずる」ための具体的な取組内容等の明確化
41	信州大学	評価に必要な情報の整備充実を図る。	評価に必要な情報の整備充実を図る (→「評価に必要な情報の整備充実を図る」の達成状況を判断する基準が不明確)	「評価に必要な情報の整備充実」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「評価に必要な情報の整備充実を図る」のための具体的内容等の明確化
42	岐阜大学	地域産業の振興を担う社会人の教育体制の構築と学生の地域産業への貢献意欲を醸成する。	学生の地域産業への貢献意欲を醸成する (→「貢献意欲を醸成する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「貢献意欲を醸成する」について、実現しようとしている達成状況(「貢献意欲」の具体的な内容、「醸成」された状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「学生の地域産業への貢献意欲を醸成する」ための具体的な取組内容等の明確化
42	岐阜大学	全学的に男女共同参画を推進する。	全学的に男女共同参画を推進する。 (→「全学的に男女共同参画を推進する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「全学的に男女共同参画を推進する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「全学的に男女共同参画」を推進するための具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
43	静岡大学	地域のグローバル化に寄与する。	地域のグローバル化に寄与 (→「寄与する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「寄与する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「地域のグローバル化に寄与する」ための具体的な取組内容等の明確化
44	浜松医科大学	専門的な知識及び技術を身につけた医師又は看護専門職を養成する。	医師又は看護専門職を養成する (→「医師又は看護専門職を養成」の達成状況を判断する基準が不明確)	「医師又は看護職を養成」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「医師又は看護職を養成する」ための具体的な取組内容等の明確化
44	浜松医科大学	課題探求能力、問題解決能力を育成し、研究心に富み、主体的かつ意欲的に学習する医療従事者を育成する。	医療従事者を育成する (→「医療従事者を育成する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「医療従事者を育成」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「医療従事者を育成する」ための具体的な取組内容等の明確化
44	浜松医科大学	医療従事者としての豊かな教養と使命感、責任感及び倫理観を育成する。	豊かな教養と使命感、責任及び倫理観を育成する (→「豊かな教養と使命感、責任及び倫理観を育成する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「豊かな教養と使命感、責任及び倫理観を育成」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「豊かな教養と使命感、責任及び倫理観を育成する」ための具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
44	浜松医科大学	地域医療を担う医師を育成する。	医師を育成する (→「医師を育成する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「医師を育成する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「地域医療を担う医師を育成する」ための具体的な取組内容等の明確化
44	浜松医科大学	国際的に活躍できる広い視野、豊かな知性、教養を持ち、世界をリードできる研究者を養成する。	研究者を養成する (→「研究者を養成する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「研究者を養成する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「研究者を養成する」ための具体的な取組内容等の明確化
44	浜松医科大学	研究者を養成するとともに研究マインドを身につけた臨床医及び看護専門職を養成する。	臨床医及び看護専門職を養成する (「臨床医及び看護専門職を養成する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「臨床医及び看護専門職を養成する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「臨床医及び看護専門職を養成する」ための具体的な取組内容等の明確化
44	浜松医科大学	メディカルフォトンクスと分子イメージング研究に係わる人材を育成する。	人材を育成する (「人材を育成する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「人材を育成する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「人材を育成する」ための具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
44	浜松医科大学	多様な人材の確保、育成を推進し、大学運営の活性化を図る。	大学運営の活発化を図る。 (→「大学運営の活発化を図る」の達成状況を判断する基準が不明確)	「大学運営の活発化を図る」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状況、達成時期、数値目標等)の明確化	多様な人材の確保、育成を推進し、 (→人材の確保、育成のための具体的な取組内容が不明確)	「多様な人材の確保、育成を推進」するための具体的な取組内容等の明確化
44	浜松医科大学	競争的資金等の獲得を目指す。	競争的資金等の獲得を目指す。 (→「獲得を目指す」では達成状況を判断する基準が不明確)	「競争的資金等の獲得を目指す」について実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「競争的資金等の獲得」のための具体的な取組内容等の明確化
44	浜松医科大学	海外との交流を推進する。	海外との交流を推進する。 (→「海外との交流を推進する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「海外との交流を推進する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「海外との交流を推進する」ための具体的な取組内容等の明確化
44	浜松医科大学	医療事故防止の推進を行う。	医療事故防止の推進を行う。 (→「医療事故防止の推進を行う」の達成状況を判断する基準が不明確)	「医療事故防止の推進を行う」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「医療事故防止」のための具体的取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
44	浜松医科大学	学生が学習する教育環境の充実を図る。	学生が学習する教育環境の充実を図る (→「教育環境の充実を図る」の達成状況を判断する基準が不明確)	「学生が学習する教育環境の充実を図る」について実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「学生が学習する教育環境の充実を図る」ための具体的な取組内容等の明確化
45	名古屋大学	外部研究資金獲得を高水準で維持する。	外部研究資金獲得を高水準で維持する (→「高水準で維持する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「高水準で維持する」について、実現しようとしている達成状況(「高水準」の程度、「維持」の具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「高水準で維持する」ための具体的な取組内容等の明確化
45	名古屋大学	附属病院の収入基盤の安定化に努める。	附属病院の収入基盤の安定化 (→「収入基盤の安定化」の達成状況を判断する基準が不明確)	「附属病院の収入基盤の安定化」について実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「附属病院の収入基盤の安定化」のための具体的な取組内容等の明確化
45	名古屋大学	社会が求める高い専門性を備えた医療人の育成を進める。	社会が求める高い専門性を備えた医療人の育成を進める。 (→「医療人の育成」の達成状況を判断する基準が不明確)	「医療人の育成を進める」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「高い専門性を備えた医療人」を育成するための具体的な取組内容の明確化



番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
45	名古屋大学	地域医療の中核病院としての役割を担う。	地域医療の中核病院としての役割を担う。 (→「地域医療の中核病院としての役割を担う」の達成状況を判断する基準が不明確)	「地域医療の中核病院としての役割を担う」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「地域医療の中核病院としての役割を担う」ための具体的な取組内容等の明確化
45	名古屋大学	高度で先端的な医療を進める。	高度で先端的な医療を進める。 (→「高度で先端的な医療」の達成状況を判断する基準が不明確)	「高度で先端的な医療を進める」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「高度で先端的な医療を進める」ための具体的な取組内容等の明確化
45	名古屋大学	臨床研究を支える多様な人材の育成を進める。	臨床研究を支える多様な人材の育成を進める。 (→「臨床研究を支える多様な人材の育成を進める」の達成状況を判断する基準が不明確)	「臨床研究を支える多様な人材の育成を進める」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「臨床研究を支える多様な人材の育成を進める」ための具体的な取組内容等の明確化
45	名古屋大学	業務運営における国際化を進める。	業務運営における国際化を進める。 (→「国際化を進める」の達成状況を判断する基準が不明確)	「業務運営における国際化を進める」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「業務運営における国際化を進める」ための具体的な取組内容の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
45	名古屋大学	教育研究環境の整備等を進める。	教育研究環境の整備等を進める。 (→「教育研究環境の整備等を進める」の達成状況を判断する基準が不明確)	「教育研究環境の整備等」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「教育研究環境の整備等を進める」ための具体的な取組内容の明確化
51	滋賀医科大学	能動的学習態度、科学的探求心、問題解決能力やコミュニケーション能力の高い人材を育成する。	人材を育成する (「人材を育成する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「人材を育成する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「人材を育成する」ための具体的な取組内容等の明確化
51	滋賀医科大学	大学院教育の更なる実質化を図る。	大学院教育の更なる実質化を図る。 (→「大学院教育の実質化」の達成状況を判断する基準が不明確)	「大学院教育の更なる実質化を図る」ことについて、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「大学院教育の更なる実質化を図る」ための具体的な取組内容の明確化
60	奈良女子大学	男女共同参画推進に関する具体的方策・男女共同参画推進のため、学内の組織や制度を見直すとともに、対外的な活動を積極的に行う。	— (記載なし)	「対外的な活動を積極的に行う」ことにより、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	対外的な活動を積極的に行う (→「対外的な活動」の具体的な内容が不明確、「積極的」の基準が不明確)	「対外的な活動」及び「積極的に行う」について具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
62	鳥取大学	創造性豊かな優れた研究開発能力を有する高度な専門職業人を養成する。	高度な専門職業人を育成する (「高度な専門職業人を育成」の達成状況を判断する基準が不明確)	「高度な専門職業人を育成する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「高度な専門職業人を育成する」ための具体的な取組内容等の明確化
62	鳥取大学	教育研究支援機能を充実するため、技術系職員の技術等の専門性を高める。	技術系職員の技術等の専門性を高める (→「専門性を高める」の達成状況を判断する基準が不明確)	「専門性を高める」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「専門性を高める」ための具体的な取組内容等の明確化
63	島根大学	地域産業振興及び地域医療の発展を担う人材の育成を図る。	地域産業振興及び地域医療の発展を担う人材の育成を図る (→「地域医療の発展を担う人材の育成を図る」の達成状況を判断する基準が不明確)	「地域産業振興及び地域医療の発展を担う人材育成を図る」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「地域産業振興及び地域医療の発展を担う人材の育成を図る」ための具体的な取組内容等の明確化
67	徳島大学	チーム医療を充実する。	チーム医療を充実する。 (→「チーム医療を充実する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「チーム医療を充実」について実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「チーム医療を充実する」ための具体的な取組内容等の明確化

番号	大学名	記述内容	達成状況(ゴール)		具体的な取組内容・手段(プロセス)	
			達成状況に関する記述	検討を求める観点	具体的な取組内容等に関する記述	検討を求める観点
73	九州大学	教職員・学生のコスト意識を高め、管理的経費を効率的に執行する。	管理的経費を効率的に執行する (→「効率的に執行する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「効率的に執行する」について、実現しようとしている達成状況(「効率的」の具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	教職員・学生のコスト意識を高め (→具体的な取組内容が不明確、コスト意識の高まりについて判断する基準が不明確)	「コスト意識を高める」ための具体的な取組内容等の明確化 コスト意識の高まりについて判断する基準の明確化
74	九州工業大学	教育・研究活動における国際的コミュニケーション力を涵養する。	国際コミュニケーション力を涵養する (→「涵養する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「国際コミュニケーション力を涵養する」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「国際的コミュニケーション力を涵養する」ための具体的な取組内容等の明確化
78	大分大学	社会環境の変化に柔軟に対応できる戦略的病院経営を行う。	— (記載なし)	「社会環境の変化に柔軟に対応できる戦略的病院経営」について、実現しようとしている達成状況(具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	社会環境の変化に柔軟に対応できる戦略的病院経営を行う。 (→「社会環境の変化に柔軟に対応できる戦略的病院経営」のための具体的な取組内容が不明確)	「社会環境の変化に柔軟に対応できる戦略的病院経営を行う」ための具体的な取組内容の明確化
79	宮崎大学	外部研究資金、寄附金、附属病院収入、その他自己収入を安定的に確保する。	安定的に確保する (→「安定的に確保する」の達成状況を判断する基準が不明確)	「安定的に確保する」について、実現しようとしている達成状況(「安定的に確保」の具体的な状態、達成時期、数値目標等)の明確化	— (記載なし)	「安定的に確保する」ための具体的な取組内容等の明確化